

令和 5 年 5 月 29 日現在

機関番号：12601

研究種目：国際共同研究加速基金（国際活動支援班）

研究期間：2016～2022

課題番号：16K21721

研究課題名（和文）パレオアジア文化史学の国際活動支援

研究課題名（英文）International Research Promotion for Cultural History of PaleoAsia

研究代表者

西秋 良宏（Nishiaki, Yoshihiro）

東京大学・総合研究博物館・教授

研究者番号：70256197

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 41,300,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、領域メンバーが展開する国際的な研究活動を効率的に支援し、パレオアジア文化史学の推進に貢献することを目的とした。大きく二つの成果があった。第一は、各計画研究班の特性をもとに国際的共同研究体制を確立し、海外数十機関の研究者との共同研究を進めた点である。第二は、国際的な共同研究の促進とその成果発信を促進した。国際会議、国際研究会を多数開催したほか、収録集を英文にて刊行し領域関係者の海外学術調査、共同研究等の成果を発信した。また、若手研究者の海外派遣等もおこない、彼ら国際経験の醸成につとめた。加えて、領域計画研究班が刊行する国際共著書籍、論文等の編集を補助し、その刊行を支援した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究はアジアをフィールドとして新人（ホモ・サピエンス）の拡散と文化形成プロセスを調べるものであるが、その適切な遂行には国際的観点が欠かせない。まずは高度に専門分野が分化した現在、適切な研究協力者が海外にしか求められないことは珍しくなく、分野によっては国内研究者育成のために海外研究者との連携が必須となることもある。さらに、本研究領域の場合は、アジアを舞台とするものであるからアジア諸国と十分に連携することが前提となる。これらをふまえ、本研究が領域の国際活動を支援した学術的意義は大きい。アジア諸国との連携強化、共同研究成果の世界発信にも寄与した点、社会的意義も大であった。

研究成果の概要（英文）：This study aims to promote the Paleo-Asian Cultural History Project by supporting the international research activities of project members. Two major achievements of this study are worth mentioning. First, the project helped establish an effective framework for research collaboration among overseas and domestic researchers. We encourage joint research programs with researchers from overseas institutions. Second, we organized international conferences and research meetings; the proceedings were published in English, disseminating the results of overseas academic surveys and joint research by those involved in the field. Furthermore, we dispatched young researchers to overseas institutions and assisted them in participating in field investigations. Our activities also included assisting project members in the editing and publishing of internationally co-authored books and journal papers. Overall, the study was undoubtedly successful.

研究分野：先史考古学

キーワード：国際共同研究 アジア海外学術 考古学 人類学 環境史 旧石器時代 ホモサピエンス 人類進化

1. 研究開始当初の背景

本領域は、絶滅人類が生息していたアジア(パレオアジア)に新人が拡散した際に生じた文化の交替劇の実態、メカニズムをあきらかにすることを目的としたものである。すなわちアジアにおける新人文化形成プロセスの地理的変異や特質を実証的、理論的に明らかにし、もって、生物学、ヨーロッパ中心の研究動向に新知見を提示し、より総合的な人類史理解に寄与することを目的としていた。

アジア全域を対象とするため、その遂行においては、当然ながらアジア諸国の研究者あるいは、アジアをフィールドとする多くの欧米研究者らとの研究連携、交流が求められる。研究開始当初において、既に、我が国は早くからアジア各地で広範な野外調査や研究交流をおこなってきたという歴史があった。しかしながら、「パレオアジア文化史学」という枠組みにおいては、各自が独自にすすめる研究プロジェクトの横断ネットワークは国内には存在せず、また、対外的にも日本人研究者によってうみだされた研究成果の国際発信は必ずしも強力ではなかった。後者の点は、多くの人文社会分野の研究者の成果が和文で公刊する慣習にあったことが背景の一つにある。そのような我が国の強みと弱みを考慮した国際活動支援が本研究には求められていた。

2. 研究の目的

そこで、本班の目的を大きく二つ設定することとした。一つは、国内外のパレオアジア研究者間のネットワーク形成である。広大なアジア諸国には言語や文化、政情等、さまざまな事情によって学術情報の交換、国際共同研究をすすめる上で独特な困難がある。この地域の研究において国際活動を効率的に推進するには、連絡容易な欧米研究者だけでなく、アジア諸国研究者とも有効なネットワーク構築することが必須である。我が国が早くからアジア各地で広範な野外調査をおこなってきたという伝統の中で培われた現地研究者との人的つながりを結集、体系化すれば、アジア各地に研究成果を発信したり、新規の共同事業を企画したりする基盤が形成できる。本国際活動支援班は、欧米の先端的研究者コミュニティだけでなくアジア各地に基礎を置く研究者も含めたネットワーク基盤を設計し実現することをまずは目的とした。

第二は、国際発信力の強化である。重要な研究を進めている国内研究者による英文による研究発信を支援する。また、この実現には若手研究者の国際経験を支援することも含まれる。それが対外連携の分厚い基盤を維持、発展させることにつながり、ひいては発信力の強化につながるからである。

3. 研究の方法

まずは、パレオアジア文化史学に関わる日本人海外学術調査を分析し、集成する。日本の研究者がかつて実施した、あるいは現在実施しているアジア関連現地調査情報を収集し、それにもとづき国内ネットワークを整備する。これをもとに、領域の国際的共同研究体制を構築する。これには、著名研究者のみならず国際的舞台には登場していないが有益な情報を有する関連アジア研究者をふくめた研究者コミュニティを含める。それは新たなアジア共同研究を開拓することにも資すると思われる。

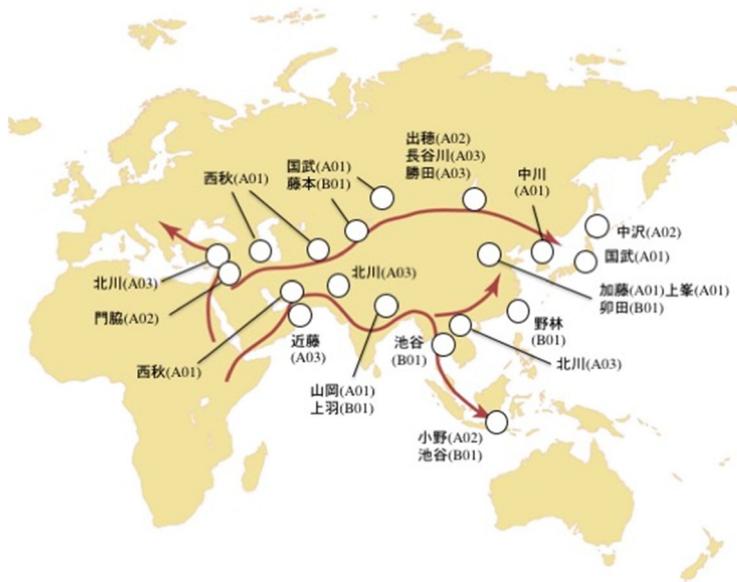
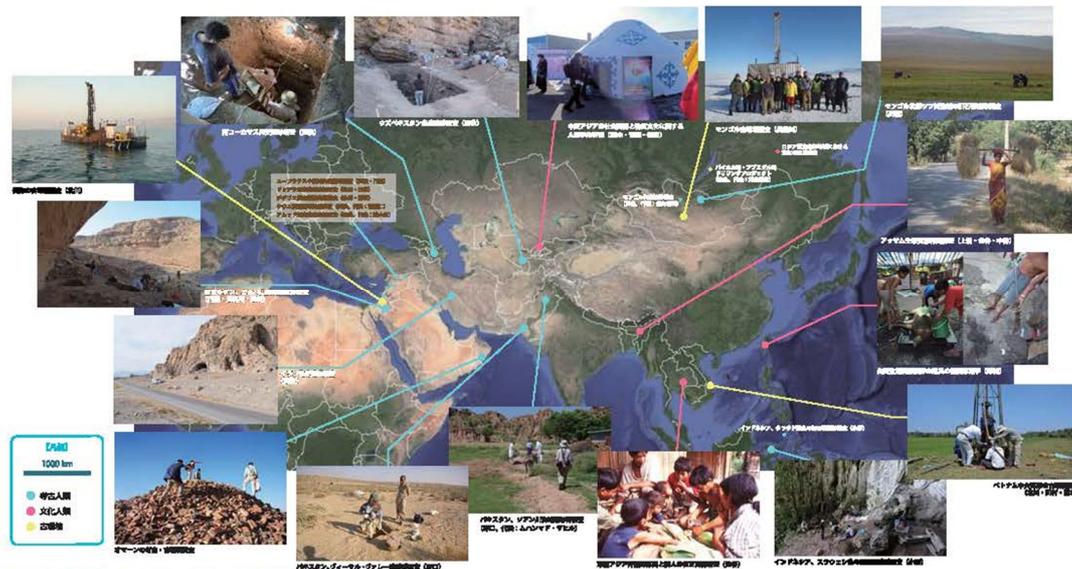
国際発信、連携強化においては、研究者の相互交流を支援する。海外研究者を招聘し、講演会やワークショップなどの研究集会を開催する。また、海外の研究機関あるいは、海外で実施されるアジア現地調査に日本人の若手研究者を派遣し、領域推進に資する研究に従事させる。

成果を国際的に発信すべく、英文書籍、英文ジャーナル誌への論文投稿を支援する。

4. 研究成果

(1) 国際的な研究体制

領域全体の国際活動に対して協力あるいは評価する主だった海外関連研究者に依頼し、外部評価委員会を設置し、加えて、各計画研究と密接にかかわる海外共同研究者にお声がけし領域全体における共同研究体制、連携連絡網を整備した。一方、国内においては、本領域の関わる研究者がアジア各地で実施している考古学、民族学等の現地調査を集成し、そのネットワークを形成した(下図、西秋ほか2017)。



それらの多くは、新人がアメリカからアジア各地への拡散を理解する上でのカギとなる地域を多く含む(左図)。この見取り図に沿って中国や中央アジアなど新たな研究フィールドが開拓された。

また、国内ネットワークが確立できたことにより、異分野研究者の連携研究を協力を促した。例えば、ヨルダンでは、考古学、民族学、現象数理学など、従来、野外調査をともにす

る関係ではなかった研究者が共同でフィールドワークを実施する機会が創出され、その成果を国際的に発信することができた。

(2) 国際的な発信、連携強化

研究期間中、数回の国際会議、国際研究会を開催し(次頁左上図)、それらの英文収録集を刊行したほか、研究大会収録集を和英で出版し領域関係者の海外学術調査、共同研究等の成果を広範に発信した。また、各計画研究班に国際的共同研究体制を推進するため、海外研究を支



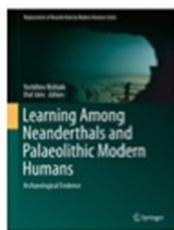
援した。それには、若手研究者を海外機関に派遣したり、海外学術調査への参加を援助するなどして、彼らの国際経験の育成につとめた。

さらに、領域計画研究班が刊行する国際共著書籍、論文等の編集を補助し、その刊行を支援した。その成果は、いちじるしい数の英文出版物として結実した(下図)。

以上、本研究は、国際活動支援において十分な成果をあげたといえる。



Nishiaki & Akazawa 2018
Springer



Nishiaki & Joeris 2019
Springer



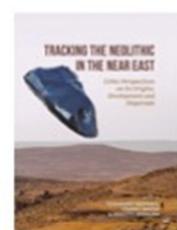
Nishiaki & Guliyev 2020
Archacopress



Nishiaki & Kadowaki 2021
Elsevier



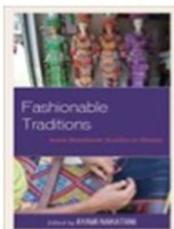
Nishiaki et al. 2021
Ex oriente



Nishiaki et al. 2022
Sidestone Press



Ono & Pawlik 2020
Open Access E Book



Nakatani 2020
Lexington Books



Ikeya 2018
Osaka Minpaku



Ikeya 2019
Osaka Minpaku



Nobayashi & Scott 2019
Osaka Minpaku



Ikeya & Nishiaki 2021
Osaka Minpaku

文献

西秋良宏・野林厚志・門脇誠二・北川浩之・若野友一郎・赤司千恵(2017)「パレオアジア文化史学 ―新人文化形成プロセス総合的研究にむけた海外学術調査の統合の試み」平成29年度『海外学術調査フォーラム(海外学術調査フェスタ)』東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所、2017年7月1日。

Ikeya, K. (2018) *Beads in the World*. Osaka: National Museum of Ethnology.

Ikeya, K. and Robert K. Hitchcock (2019.) *Hunter-Gatherers and their Neighbors in Asia, Africa, and South America*. Osaka: National Museum of Ethnology.

Ikeya, K. and Y. Nishiaki (2021) *Hunter-Gatherers in Asia: From Prehistory to Present*. Osaka: National Museum of Ethnology.

Nakatani, A. (2020) *Fashionable Traditions: Asian Handmade* Lanham: Lexington Books.

Nishiaki, Y. and T. Akazawa (2018) *The Middle and Upper Paleolithic Archeology of the Levant and Beyond*. Singapore: Springer Nature.

- Nishiaki, Y. and O. Jöris (2019) *Learning among Neanderthals and Paleolithic Modern Humans*. Singapore: Springer Nature.
- Nishiaki, Y. and F. Guliyev (2020) *Göytepe – The Neolithic Excavations in the Middle Kura Valley, Azerbaijan*. Oxford: Archaeopress.
- Nishiaki, Y. and S. Kadowaki (2021) *Variability in Lithic Production Technology during the Range Expansion of Paleolithic Modern Humans: Asian Perspectives*. Quaternary International 596. Oxford: Elsevier Ltd.
- Nishiaki, Y., F. Guliyev and S. Kadowaki (2021) *Hacı Elamxanlı Tepe – The Archaeological Investigations of an Early Neolithic Settlement in West Azerbaijan*. Berlin: ex oriente.
- Nishiaki, Y., O. Maeda, and M. Arimura (2022) *Tracking the Neolithic of the Near East*. Leiden: Sidestone Press.
- Nobayashi, A. and S. Scott (2019) *Environmental Teachings for the Anthropocene: Indigenous Peoples and Museums in the Western Pacific*. Osaka: National Museum of Ethnology.
- Ono, R. and A. Pawlik (2022) *Pleistocene Archaeology: Migration, Technology, and Adaptation*. Open-e Books.

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計112件（うち査読付論文 76件 / うち国際共著 51件 / うちオープンアクセス 31件）

1. 著者名 Hirose, M., Y. Naito, S. Kadowaki, S. Arai, F. Guliyev, and Y. Nishiaki	4. 巻 36
2. 論文標題 Investigating early husbandry strategies in the southern Caucasus: intra-tooth sequential carbon and oxygen isotope analysis of Neolithic goats, sheep, and cattle from Goytepe and Haci Elamxanlı Tepe.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Archaeological Science	6. 最初と最後の頁 102869(1-15)
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1016/j.jasrep.2021.102869	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する
1. 著者名 Suga Eiki, Ichinose Natsuki, Tsukada Kazuhiro, Kadowaki Seiji, Massadeh Sate, Henry Donald O.	4. 巻 29
2. 論文標題 Investigating changes in lithic raw material use from the Middle Paleolithic to the Upper Paleolithic in Jebel Qalkha, southern Jordan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Archaeological Research in Asia	6. 最初と最後の頁 100347 ~ 100347
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1016/j.ara.2021.100347	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する
1. 著者名 Ichinose Natsuki, Suga Eiki, Kadowaki Seiji, Tsukada Kazuhiro, Nadmid Bayart, Umeda Kanta, Nuramkhaan Manchuk, Massadeh Sate, Henry Donald O.	4. 巻 65
2. 論文標題 Petrographic and geochemical characterization of chert artifacts from Middle, Upper, and Epi Paleolithic assemblages in the Jebel Qalkha area, southern Jordan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Archaeometry	6. 最初と最後の頁 530 ~ 546
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1111/arcn.12824	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する
1. 著者名 門脇誠二、廣瀬允人、須賀永帰、殷健杰、木元菜奈子、オダイ・タラウネ、ドナルド・ヘンリー	4. 巻 30
2. 論文標題 ホモ・サピエンスの拡散・定着期における文化動態：南ヨルダンのカルハ山の旧石器遺跡調査（2022年）	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 西アジア発掘調査報告会報告集	6. 最初と最後の頁 26-29
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 木元菜奈子、黒住耐二、門脇誠二、サタ・マサデ、ドナルド・ヘンリー	4. 巻 24
2. 論文標題 摩耗痕分析による旧石器時代の貝製ビーズの利用法の検証 南ヨルダン、トール・ハマル遺跡出土の海産貝類の分析	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 西アジア考古学	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishiaki Yoshihiro	4. 巻 48(2)
2. 論文標題 Early Neolithic Chronology and Lithic Industry of Tepe Abdul Hosein, Central Zagros, Iran	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Paleorient	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4000/paleorient.1858	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ikeyama, F., F. Guliyev and Y. Nishiaki	4. 巻 57
2. 論文標題 Variability in Obsidian Pressure Blade Technology of the Neolithic Southern Caucasus: New Data from Goytepe and Haci Elamxanlı Tepe, Azerbaijan.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Orient	6. 最初と最後の頁 125-143
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishiaki Yoshihiro, Kanjou Yousef, Akazawa Takeru	4. 巻 126
2. 論文標題 The Early Middle Palaeolithic lithic industry of Dederiyeh Cave, Northwest Syria	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 L'Anthropologie	6. 最初と最後の頁 103028 ~ 103028
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.anthro.2022.103028	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishiaki Yoshihiro, Aripdjanov Otabek, Arai Saiji, Akashi Chie, Nakata Hiroto, Sayfullayev Bakhtiyor, Ergashev Odil, Suleimanov Rustam	4. 巻 30
2. 論文標題 Neolithization during the 6th millennium BCE in western Central Asia: New evidence from Kaynar Kamar Rockshelter, Hissar Mountains, Southeast Uzbekistan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Archaeological Research in Asia	6. 最初と最後の頁 100352 ~ 100352
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ara.2022.100352	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 西秋良宏・ヤコブ ママドフ・ウルビア ハイダロヴァ・三木健裕・仲田大人・新井オニ・池山史華・田辺勘太郎・宮井しづか	4. 巻 30
2. 論文標題 南コーカサス地方の新石器時代 日本・アゼルバイジャン調査団第13次発掘調査 (2022年)	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 西アジア発掘調査報告会報告集	6. 最初と最後の頁 18-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 松井孝典・西秋良宏・下釜和也・ジェラルド ウルダー・森脇涼太・多田賢弘・鈴木健太・新井オニ	4. 巻 30
2. 論文標題 南東アナトリア先土器新石器時代の丘上遺跡-ハルベトスワン・テベシ遺跡の第一次調査 (2022年) -	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 西アジア発掘調査報告会報告集	6. 最初と最後の頁 9-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kadowaki Seiji, Tamura Toru, Kida Risako, Omori Takayuki, Maher Lisa A., Portillo Marta, Hirose Masato, Suga Eiki, Massadeh Sate, Henry Donald O.	4. 巻 5
2. 論文標題 Lithic Technology and Chronology of Initial Upper Paleolithic Assemblages at Tor Fawaz, Southern Jordan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Paleolithic Archaeology	6. 最初と最後の頁 1
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s41982-021-00107-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Mullon Charles、Wakano Joe Yuichiro、Ohtsuki Hisashi	4. 巻 525
2. 論文標題 Coevolutionary dynamics of genetic traits and their long-term extended effects under non-random interactions	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Theoretical Biology	6. 最初と最後の頁 110750 ~ 110750
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2021.110750	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Qiaola S.、Nguyen T.M.L.、Ta T.K.O.、Nguyen V.L.、Gugliotta M.、Saito Y.、Kitagawa H.、Nakashima R.、Tamura T.	4. 巻 70
2. 論文標題 Luminescence dating of Holocene sediment cores from a wave-dominated and mountainous river delta in central Vietnam	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Quaternary Geochronology	6. 最初と最後の頁 101277 ~ 101277
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quageo.2022.101277	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kadowaki Seiji、Suga Eiki、Henry Donald O.	4. 巻 596
2. 論文標題 Frequency and production technology of bladelets in Late Middle Paleolithic, Initial Upper Paleolithic, and Early Upper Paleolithic (Ahmarian) assemblages in Jebel Qalkha, Southern Jordan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Quaternary International	6. 最初と最後の頁 4 ~ 21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quaint.2021.03.012	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishiaki Yoshihiro、Kadowaki Seiji	4. 巻 596
2. 論文標題 Variability in Lithic Production Technology during the Range Expansion of Paleolithic Modern Humans: Asian Perspectives	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Quaternary International	6. 最初と最後の頁 1 ~ 3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quaint.2021.06.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishiaki Yoshihiro, Tamura Kohei, Suzuki Miho, Nakamura Mitsuhiro, Kato Shinji, Nakagawa Kazuya, Takakura Jun, Yamaoka Takuya, Noguchi Atsushi, Kondo Yasuhisa, Kobayashi Yutaka	4. 巻 596
2. 論文標題 Spatiotemporal variability in lithic technology of Middle-to-Upper Paleolithic Asia: A new dataset and its statistical analyses	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Quaternary International	6. 最初と最後の頁 144 ~ 154
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quaint.2021.03.022	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Wakano Joe Yuichiro, Kadowaki Seiji	4. 巻 596
2. 論文標題 Application of the ecocultural range expansion model to modern human dispersals in Asia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Quaternary International	6. 最初と最後の頁 171 ~ 184
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quaint.2020.12.019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishiaki Yoshihiro, Aripdjanov Otabek	4. 巻 596
2. 論文標題 A new look at the Middle Paleolithic lithic industry of the Teshik-Tash Cave, Uzbekistan, West Central Asia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Quaternary International	6. 最初と最後の頁 22 ~ 37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quaint.2020.11.035	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Naito Yuichi I., Hirose Masato, Belmaker Miriam, Henry Donald O., Osawa Momoko, Nakazawa Takashi, Habinger Sophie G., Tung Peter, Bocherens Herve, Massadeh Sate, Kadowaki Seiji	4. 巻 282
2. 論文標題 Paleoenvironment and human hunting activity during MIS 2 in southern Jordan: Isotope records of prey remains and paleosols	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Quaternary Science Reviews	6. 最初と最後の頁 107432 ~ 107432
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quascirev.2022.107432	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishiaki Yoshihiro, Zeynalov Azad, Munsrov Mansur, Guliyev Farhad	4. 巻 64
2. 論文標題 RADIOCARBON CHRONOLOGY OF THE MESOLITHIC-NEOLITHIC SEQUENCE AT DAMJILI CAVE, AZERBAIJAN, SOUTHERN CAUCASUS	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Radiocarbon	6. 最初と最後の頁 309 ~ 322
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/RDC.2022.12	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishiaki, Y., G. Abudl-Aziz, and N. Inutake	4. 巻 42
2. 論文標題 Restoration of a unique Neolithic clay female figurine from Tell Seker Al-Aheimar, Northeast Syria	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Rafidan	6. 最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kobayashi Yutaka, Kurokawa Shun, Ishii Takuya, Wakano Joe Yuichiro	4. 巻 137
2. 論文標題 Time to extinction of a cultural trait in an overlapping generation model	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Theoretical Population Biology	6. 最初と最後の頁 32 ~ 45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tpb.2021.01.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Aoki Kenichi, Wakano Joe Yuichiro	4. 巻 144
2. 論文標題 Hominin forager technology, food sharing, and diet breadth	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Theoretical Population Biology	6. 最初と最後の頁 37 ~ 48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tpb.2022.01.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 門脇誠二	4. 巻 23
2. 論文標題 レヴァント地方における旧石器時代の人類の技術と行動の通時変化 最近の動向と考察 (後編)	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 西アジア考古学	6. 最初と最後の頁 67-83
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 野林厚志	4. 巻 35
2. 論文標題 海と島の先住民の生業カレンダー---台湾タオ族の魚食と根菜食	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 BIOSTORY	6. 最初と最後の頁 15-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西秋良宏	4. 巻 29
2. 論文標題 第29回西アジア発掘調査報告会の開催にあたって	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 第29回西アジア発掘調査報告会報告集	6. 最初と最後の頁 i-ii
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 西秋良宏	4. 巻 29
2. 論文標題 中央アジア山岳地帯の新石器時代 ウズベキスタン、カイナル・カマル遺跡の調査(2012-2019年)	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 考古学が語る古代オリエント-第29回西アジア発掘調査報告会報告集	6. 最初と最後の頁 14-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 門脇誠二・廣瀬允人・須賀永帰・S. マサデ・D. ヘンリー	4. 巻 29
2. 論文標題 ホモ・サビエンスの拡散・定着期における文化動態：南ヨルダン、カルハ山の旧石器遺跡調査（近年の研究成果）	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 考古学が語る古代オリエント-第29回西アジア発掘調査報告会報告集	6. 最初と最後の頁 28-31
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Gakuhari, T., S. Nakagome, S. Rasmussen, M. E. Allentoft, T. Sato, T. Korneliusen, ... and H. Oota	4. 巻 3
2. 論文標題 Ancient Jomon genome sequence analysis sheds light on migration patterns of early East Asian populations	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Communications Biology	6. 最初と最後の頁 437
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1038/s42003-020-01162-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 Itahashi, Y., A. Ananyevskaya, M. Yoneda, A. R. Ventresca Miller, Y. Nishiaki, and G. Motuzaitė Matuzevičiūtė	4. 巻 33
2. 論文標題 Dietary diversity of Bronze-Iron Age populations of Kazakhstan quantitatively estimated through the compound-specific nitrogen analysis of amino acids	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Archaeological Science Reports	6. 最初と最後の頁 102565
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1016/j.jasrep.2020.102565	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 巻 87
2. 論文標題 The Pre-Pottery Neolithic water-well at Tell Seker al-Aheimar, Upper Mesopotamia: Social contexts of its construction and management	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Proceedings of the Prehistoric Society	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishiaki, Y. and O. Aripdjanov	4. 巻 -
2. 論文標題 A new look at the Middle Palaeolithic lithic industry of Teshik Tash Cave, Uzbekistan, west Central Asia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Quaternary International	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quaint.2020.11.035	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishiaki, Y., G. Abudl-Aziz, and N. Inutake	4. 巻 42
2. 論文標題 Restoration of a unique Neolithic clay female figurine from Tell Seker Al-Aheimar, Northeast Syria	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Rafidan	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishiaki, Y., K. Tamura, M. Suzuki, M. Nakamura, S. Kato, K. Nakagawa, J. Takakura, T. Yamaoka, A. Noguchi, Y. Kondo, and Y. Kobayashi	4. 巻 -
2. 論文標題 A Spatiotemporal variability in lithic technology of Middle-to-Upper Paleolithic Asia: A new dataset and its statistical analyses	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Quaternary International	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Odaka, T., O. Maeda, K. Shimogama, Y. S. Hayakawa, Y. Nishiaki, N. A. Mohammed, and K. Rasheed	4. 巻 2020
2. 論文標題 Late Neolithic in the Shahrizor Plain, Iraqi Kurdistan: New excavations at Shakar Tepe, 2019	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neo-Lithics	6. 最初と最後の頁 53-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 西秋良宏	4. 巻 32
2. 論文標題 西アジアの旧石器・新石器時代移行期-レヴァント地方の場合	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 上黒岩岩陰と縄文草創期 季刊考古学別冊	6. 最初と最後の頁 105-109
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hirose, M., Y. I. Naito, S. Kadowaki, S. Arai, F. Guliyev, and Y. Nishiaki	4. 巻 36
2. 論文標題 Investigating early husbandry strategies in the southern Caucasus: intra-tooth sequential carbon and oxygen isotope analysis of Neolithic goats, sheep, and cattle from Goytepe and Haci Elamxanlı Tepe.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Archaeological Science: Report	6. 最初と最後の頁 102869
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Wakano, J.Y. and S. Kadowaki	4. 巻 -
2. 論文標題 Application of the ecocultural range expansion model to modern human dispersals in Asia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Quaternary International.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Miki, T., Kondo, Y., Kuronuma, T., Kitagawa H. and Noguchi A.	4. 巻 21
2. 論文標題 Bronze Age vessel remains from the cave of Mugharat al Kahf in the Wadi Tanuf: a preliminary report of the 2017/18 and 2018/19 seasons	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The Journal of Oman Studies	6. 最初と最後の頁 128-143
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Naito, Y. I. Yamane M. and Kitagawa H.	4. 巻 34(10)
2. 論文標題 A protocol for using ATR FTIR for pre screening ancient bone collagen prior to radiocarbon dating	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Rapid Communications in Mass Spectrometry	6. 最初と最後の頁 e8720
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/rcm.8720	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Goldstein, S. L., Kiro, Y., Torfstein, A., Kitagawa, H., Tierney J. and Stein, M.	4. 巻 244
2. 論文標題 Revised chronology of the ICDP Dead Sea deep drill core relates drier-wetter-drier climate cycles to insolation over the past 220 kyr.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Quaternary Science Reviews	6. 最初と最後の頁 106460
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quascirev.2020.106460	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kasai, Y., Leipe, C., Saito, M., Kitagawa, H., Lauterbach, S., Brauer, A., Tarasov, P. E., Gosla, T. and Sakuma, A.	4. 巻 -
2. 論文標題 Breakthrough in purification of fossil pollen for dating of sediments by a new large-particle on-2 chip sorter	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Scientific Advances	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/sciadv.abe7327	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Collins, D. S., Nguyen, V. L., Ta, T. K. O., Maoc, L., Ishia, Y., Kitagawa, H., Nakashima, R., Vo, T. H. Q. and Tamura T.	4. 巻 -
2. 論文標題 Sedimentary evolution of a delta-margin mangrove in Can Gio, northeastern Mekong River delta, Vietnam	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Marine Geology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.margeo.2020.106417	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Collins, D. S., Nguyen, V. L., Ta, T. K. O., Maoc, L., Ishia, Y., Kitagawa, H., Nakashima, R., Vo, T. H. Q. and Tamura T.	4. 巻 -
2. 論文標題 Sedimentary evolution of a delta-margin mangrove in Can Gio, northeastern Mekong River delta, Vietnam	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Marine Geology	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.margeo.2020.106417	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 奥泉舞桜・北川浩之	4. 巻 4
2. 論文標題 タンデトロン論加速器質量分析法による炭素14測定データの解析パッケージ	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 名古屋大学年代測定研究	6. 最初と最後の頁 39-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi, Y., S. Kurokawa, T. Ishii, J.Y. Wakano	4. 巻 137
2. 論文標題 Time to extinction of a cultural trait in an overlapping generation model	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Theoretical Population Biology	6. 最初と最後の頁 32-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tpb.2021.01.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakamura, M., J.Y. Wakano, K. Aoki, Y. Kobayashi	4. 巻 133
2. 論文標題 The popularity spectrum applied to a cross-cultural question	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Theoretical Population Biology	6. 最初と最後の頁 104-116
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tpb.2019.10.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ohtsuki, H., C. Rueffler, J.Y. Wakano, K. Parvinen, L. Lehmann	4. 巻 507
2. 論文標題 The components of directional and disruptive selection in heterogeneous group-structured populations	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Theoretical Biology	6. 最初と最後の頁 110449
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2020.110449	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Parvinen, K., H. Ohtsuki, J.Y. Wakano	4. 巻 117
2. 論文標題 Evolution of dispersal in a spatially heterogeneous population with finite patch sizes	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America	6. 最初と最後の頁 7290-7295
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1915881117	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Peng, Y. and A. Nobayashi	4. 巻 106
2. 論文標題 Cross-cultural Research Comparing the Hunting Tools and Techniques of Hunter-gatherers and Hunter-gardeners	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Hunter-gatherers in Asia: From Prehistory to the Present (Senri Ethnological Studies 106)	6. 最初と最後の頁 73-90
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ihara, Y., K. Ikeya, A. Nobayashi, and Y. Kaifu	4. 巻 145
2. 論文標題 A demographic test of accidental versus intentional island colonization by Pleistocene humans	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Human Evolution	6. 最初と最後の頁 102839
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jhevol.2020.102839	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kadowaki, S., E. Suga, and D. O. Henry	4. 巻 -
2. 論文標題 Frequency and production technology of bladelets in Late Middle Paleolithic, Initial Upper Paleolithic, and Early Upper Paleolithic (Ahmarian) assemblages in Jebel Qalkha, Southern Jordan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Quaternary International	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quaint.2021.03.012	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishiaki, Y. O. Maeda, T. Kannari, M. Nagai, E. Healey, F. Guliyev and S. Campbell	4. 巻 61(4)
2. 論文標題 Obsidian provenance analyses at Goytepe, Azerbaijan: Implications for understanding Neolithic socioeconomies in the Southern Caucasus.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Archaeometry	6. 最初と最後の頁 765-782
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/arc.12457.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishiaki, Y., A. Zeynalov, M. Mansrov, C. Akashi, S. Arai, K. Shimogama, and F. Guliyev	4. 巻 19
2. 論文標題 The Mesolithic-Neolithic interface in the Southern Caucasus: 2016-2017 excavations at Damjili Cave, West Azerbaijan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Archaeological Research in Asia	6. 最初と最後の頁 100140
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ara.2019.100140	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 西秋良宏	4. 巻 24(2)
2. 論文標題 ニューギニアの弓矢(II)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ウロボロス	6. 最初と最後の頁 4-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 巻 2
2. 論文標題 Neolithic-Chalcolithic transition in Southwest Iran: Examining blade production technology at Tall-i Bakun B, Fars.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Archaeology, Iran	6. 最初と最後の頁 1-4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 赤司 千恵、門脇 誠二、キリエフ ファルハド、西秋 良宏	4. 巻 28
2. 論文標題 アゼルバイジャンにおけるヨモギ属 (<i>Artemisia</i> spp.) 利用史	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 植生史研究	6. 最初と最後の頁 59 ~ 70
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34596/hisbot.28.2_59	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 赤司千恵・西秋良宏・F. キリエフ	4. 巻 掲載確定
2. 論文標題 巻頭写真：ギョイテペ遺跡 (アゼルバイジャン・日本による共同発掘調査)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 植生史研究	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 西秋良宏	4. 巻 737
2. 論文標題 アゼルバイジャン考古学事情	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 考古学ジャーナル	6. 最初と最後の頁 24-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西秋良宏	4. 巻 62(2)
2. 論文標題 西アジア旧石器時代にみられる石刃生産の長期的な変化について	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 オリエント	6. 最初と最後の頁 192-193
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kadowaki, S., T. Tamura, K. Sano, T. Kurozumi, L.A. Maher, J.Y. Wakano, T. Omori, R. Kida, M. Hirose, S. Massadeh, and D.O. Henry	4. 巻 135
2. 論文標題 Lithic technology, chronology, and marine shells from Wadi Aghar, southern Jordan, and Initial Upper Paleolithic behaviors in the southern inland Levant	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Human Evolution	6. 最初と最後の頁 102646
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jhevol.2019.102646	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kobayashi, Y., J. Y. Wakano, and H. Ohtsuki	4. 巻 472
2. 論文標題 Evolution of cumulative culture for niche construction	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Theoretical Biology	6. 最初と最後の頁 67-76
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2019.04.13	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakamura Mitsuhiro, Wakano Joe Yuichiro, Aoki Kenichi, Kobayashi Yutaka	4. 巻 133
2. 論文標題 The popularity spectrum applied to a cross-cultural question	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Theoretical Population Biology	6. 最初と最後の頁 104 ~ 116
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tpb.2019.10.003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Naito, Y. I., Yamane, M. and Kitagawa, H.	4. 巻 34(10)
2. 論文標題 A protocol for using ATR FTIR for pre screening ancient bone collagen prior to radiocarbon dating.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Rapid Communications in Mass Spectrometry	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/rcm.8720	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 野林厚志	4. 巻 12
2. 論文標題 「台湾原住民族の生態資源獲得の技術に関する研究－狩猟方法を中心に」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『第12回台日原住民族研究論壇』	6. 最初と最後の頁 208-225
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishiaki Y., Maeda O., Kannari T., Nagai M., Healey E., Guliyev F., Campbell S.	4. 巻 61
2. 論文標題 Obsidian provenance analyses at Goytepe, Azerbaijan: Implications for understanding Neolithic socioeconomies in the southern Caucasus	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Archaeometry	6. 最初と最後の頁 765 ~ 782
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/arcn.12457	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 巻 special issue
2. 論文標題 Jezla: An Early-Middle Bronze Age site complex in the Middle Euphrates steppe, North Syria	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Orient, Mikasa Volume	6. 最初と最後の頁 21-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishiaki, Y., O. Aripdjanov, B. Sayfullayev, O. Engeshed, E. Grodeeva, H. Nakata, S. Arai, A. Noguchi, and R. Suleymanov	4. 巻 40
2. 論文標題 Prehistoric caves and rockshelters in the Machay Valley, Surkhandarya, South Uzbekistan (II).	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Rafidan	6. 最初と最後の頁 9-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 巻 53
2. 論文標題 The Late Halafian lithic industry from Tell Kashkashok I, the Upper Khabur, Syria	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Orient	6. 最初と最後の頁 1-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishiaki, Y. and H. Darabi	4. 巻 16
2. 論文標題 The Earliest Neolithic Lithic Industries of the Central Zagros: New Evidence from East Chia Sabz, Western Iran	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Archaeological Research in Asia	6. 最初と最後の頁 46-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishiaki, Y., M. H. Taheri and A. Sardari	4. 巻 55
2. 論文標題 Lithic industry of the Early Chalcolithic in the southern Zagros: New insights from the Middle Bakun site of Tal-e Mash Karim, Iran.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Ancient Near Eastern Studies	6. 最初と最後の頁 125-141
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Akashi, C., K. Tanno, F. Guiliev, and Y. Nishiaki	4. 巻 44(2)
2. 論文標題 Neolithisation processes of the South Caucasus: as viewed from macro-botanical analyses at Hacı Elamxanlı Tepe, west Azerbaijan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Paleorient	6. 最初と最後の頁 75-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Motuzaitė Matuzevičiūtė, G., A. Abdykhanova, S. Kume, Y. Nishiaki, and K. Kubatbek Tabaldiev	4. 巻 20
2. 論文標題 The effect of geographical margins on cereal grain size variation: case study for highlands of Kyrgyzstan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Archaeological Sciences: Reports	6. 最初と最後の頁 410-410
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Romagnoli, F., Y. Nishiaki, F. Rivals, and M. Vaquero	4. 巻 474
2. 論文標題 Time uncertainty, site formation processes, and human behaviours: new insights on old issues in high-resolution archaeology.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Quaternary International	6. 最初と最後の頁 99-102
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 西秋良宏	4. 巻 37
2. 論文標題 飼い猫の始まり-遺跡が伝える新石器時代の人猫交流	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 淡青	6. 最初と最後の頁 18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西秋良宏	4. 巻 708
2. 論文標題 旧石器時代の時期区分	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 考古学ジャーナル	6. 最初と最後の頁 1
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 門脇誠二	4. 巻 720
2. 論文標題 博物館における考古学の学際研究	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 考古学ジャーナル	6. 最初と最後の頁 19-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 野林厚志	4. 巻 42(4)
2. 論文標題 エスニシティを可視化する手段としての衣服 台湾原住民族サキザヤ族の民族認定を事例として	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国立民族学博物館研究報告	6. 最初と最後の頁 379-409
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 野林厚志	4. 巻 夕刊
2. 論文標題 旅・いろいろ地球人 パレオアジア文化史4 魂と通じる道具	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 毎日新聞	6. 最初と最後の頁 2018.4.28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 野林厚志	4. 巻 夕刊
2. 論文標題 旅・いろいろ地球人 パレオアジア文化史3 運搬具と人類の移動	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 毎日新聞	6. 最初と最後の頁 2018.4.21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 野林厚志	4. 巻 夕刊
2. 論文標題 旅・いろいろ地球人 パレオアジア文化史2 石器文化の境界線	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 毎日新聞	6. 最初と最後の頁 2018.4.14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 野林厚志	4. 巻 夕刊
2. 論文標題 旅・いろいろ地球人 パレオアジア文化史1 旧人から新人へ	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 毎日新聞	6. 最初と最後の頁 2018.4.7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kurokawa Shun, Wakano Joe Yuichiro, Ihara Yasuo	4. 巻 9
2. 論文標題 Evolution of Groupwise Cooperation: Generosity, Paradoxical Behavior, and Non-Linear Payoff Functions	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Games	6. 最初と最後の頁 100-100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi Yutaka, Wakano Joe Yuichiro, Ohtsuki Hisashi	4. 巻 123
2. 論文標題 Genealogies and ages of cultural traits: An application of the theory of duality to the research on cultural evolution	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Theoretical Population Biology	6. 最初と最後の頁 18-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Parvinen Kalle, Ohtsuki Hisashi, Wakano Joe Yuichiro	4. 巻 454
2. 論文標題 Spatial heterogeneity and evolution of fecundity-affecting traits	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Theoretical Biology	6. 最初と最後の頁 190-204
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kadowaki, S., K. Ohnishi, S. Arai, F. Guliyev and Y. Nishiaki	4. 巻 27
2. 論文標題 Mitochondrial DNA analysis of Neolithic goats in the southern Caucasus: implications for the domestication of goats in west Asia.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 International Journal of Osteoarchaeology	6. 最初と最後の頁 245-260
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/oa.2534	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 西秋良宏	4. 巻 55
2. 論文標題 シリアからコーカサスへ - 西アジア初期農耕の拡散を追って	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 ORIENTE	6. 最初と最後の頁 10-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西秋良宏	4. 巻 55
2. 論文標題 石器、西アジア、文明	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 チャスキ	6. 最初と最後の頁 13-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishiaki, Y., F. Guliyev, S. Kadowaki, and T. Omori	4. 巻 474B
2. 論文標題 Neolithic residential patterns in the southern Caucasus: Radiocarbon analysis of rebuilding cycles of mudbrick architecture at Goytepe, west Azerbaijan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Quaternary International	6. 最初と最後の頁 119-130
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quaint.2017.09.015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishiaki, Y. O. Aripdjanov, A. Rajabov, B. Sayfullayev, H. Nakata, S. Arai, and C. Akashi	4. 巻 38
2. 論文標題 Prehistoric caves and rockshelters in the Machay Valley, Surkhandarya, South Uzbekistan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Rafidan	6. 最初と最後の頁 31-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 西秋良宏	4. 巻 708
2. 論文標題 旧石器時代の時期区分	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 考古学ジャーナル	6. 最初と最後の頁 1
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishiaki, Y., M. Yoneda, Y. Kanjou and T. Akazawa	4. 巻 43 (2)
2. 論文標題 Natufian in the north: The Late Epipalaeolithic cultural entity at Dederiyeh Cave, northwest Syria	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Paleorient	6. 最初と最後の頁 7-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 西秋良宏	4. 巻 46
2. 論文標題 西アジア発, 『新石器革命』とその拡散	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 西洋史研究	6. 最初と最後の頁 121-131
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 有光秀行・浦野聡・西秋良宏・太田博樹・米田穰・中山一大	4. 巻 46
2. 論文標題 ゲノム研究は歴史を変える 西ユーラシアの農耕-牧畜・移動-定住研究の現在	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 西洋史研究	6. 最初と最後の頁 172-189
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西秋良宏	4. 巻 141
2. 論文標題 現生人類到来以前の西アジア	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 季刊考古学	6. 最初と最後の頁 21-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kadowaki, S. and E.B. Banning	4. 巻 19
2. 論文標題 Morphometric and refitting analyses of flaked stone artifacts from Tabaqat al-Buma and al-Basatin, northern Jordan: sickle elements and core-reduction technology in the Late Neolithic (6th millennium BCE) in the southern Levant	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Archaeological Science: Report	6. 最初と最後の頁 64-79
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jasrep.2018.02.014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 門脇誠二	4. 巻 141
2. 論文標題 現生人類の出アフリカと北廻りでのユーラシア拡散	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 季刊考古学	6. 最初と最後の頁 25-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 門脇誠二	4. 巻 708
2. 論文標題 レヴァントへの新人拡散と文化動態	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 考古学ジャーナル	6. 最初と最後の頁 6-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 門脇誠二	4. 巻 33
2. 論文標題 名古屋大学によるアフリカ考古遺跡の調査記録：大参義一教授の写真スライド資料	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 名古屋大学博物館報告	6. 最初と最後の頁 11-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Wakano, J.Y., W. Gilpin, S. Kadowaki, M.W. Feldman, and K. Aoki	4. 巻 119
2. 論文標題 Ecocultural range-expansion scenarios for the replacement or assimilation of Neanderthals by modern humans	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Theoretical Population Biology	6. 最初と最後の頁 3-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tpb.2017.09.004	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Fogarty, L., J. Y. Wakano, M. W. Feldman, and K. Aoki	4. 巻 28
2. 論文標題 The driving forces of cultural complexity: Neanderthals, modern humans, and the question of population size	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Human Nature	6. 最初と最後の頁 39-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12110-016-9275-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ohtsuki, H., J. Y. Wakano, and Y. Kobayashi	4. 巻 115
2. 論文標題 Inclusive fitness analysis of cumulative cultural evolution in an island-structured population	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Theoretical Population Biology	6. 最初と最後の頁 13-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tpb.2017.03.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Parvinen, K., H. Ohtsuki, and J. Y. Wakano	4. 巻 416
2. 論文標題 The effect of fecundity derivatives on the condition of evolutionary branching in spatial models	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Theoretical Biology	6. 最初と最後の頁 129-143
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jtbi.2016.12.019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Wakano, J. Y., T. Funaki, and S. Yokoyama	4. 巻 34
2. 論文標題 Derivation of replicator-mutator equations from a model In population genetics	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Japan Journal of Industrial and Applied Mathematics	6. 最初と最後の頁 473-488
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s13160-017-0249-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kobayashi, Y., H. Ohtsuki, and J.Y. Wakano	4. 巻 111
2. 論文標題 Population size vs. social connectedness A gene-culture coevolutionary approach to cumulative cultural evolution.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Theoretical Population Biology	6. 最初と最後の頁 87-95
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tpb.2016.07.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kadowaki, S., K. Ohnishi, S. Arai, and Y. Nishiaki	4. 巻 27 (2)
2. 論文標題 Mitochondrial DNA analysis of ancient domestic goats in the Southern Caucasus	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 International Journal of Osteoarchaeology	6. 最初と最後の頁 245-260
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kadowaki, S.	4. 巻 38
2. 論文標題 Technology of striking platform preparation on lithic debitage from Wadi Aghar, southern Jordan, and its relevance to the Initial Upper Palaeolithic technology in the Levant.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Rafidan	6. 最初と最後の頁 23-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 巻 38
2. 論文標題 Domestic flake production technology of the Early Bronze Age in Upper Mesopotamia: Tell Ghanem Al-Ali (Syria) and Telul eth-Thalathat V (Iraq).	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Rafidan	6. 最初と最後の頁 47-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Uemine, A., K. Matsufuji and M. Shibara	4. 巻 3
2. 論文標題 Sedimentological Approach to the Sunaabara Early Palaeolithic Site in Japan.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Bulletin of the Society for East Asian Archaeology	6. 最初と最後の頁 13-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 野口 淳・横山 真・千葉 史・M. ザヒル・A. アゼーム・近藤英夫	4. 巻 17
2. 論文標題 パキスタンにおける文化遺産の再記録化プロジェクト(2) - イスラマバード博物館収蔵資料の3D計測とデジタル・アーカイブ化に向けた取り組み	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 日本情報考古学会講演論文集	6. 最初と最後の頁 6-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松藤和人	4. 巻 687
2. 論文標題 総論 東アジア前・中期旧石器研究の最前線	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 月刊考古学ジャーナル	6. 最初と最後の頁 3-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計341件（うち招待講演 42件 / うち国際学会 115件）

1. 発表者名 門脇誠二
2. 発表標題 石器づくりという手仕事と人類の進化
3. 学会等名 第38回 民族藝術学会大会 シンポジウム「手仕事」とarts/ : 人類の創造的ないとなみを探る（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 木元菜奈子、門脇誠二
2. 発表標題 貝殻ビーズから見る南ヨルダン終末期旧石器時代の社会ネットワーク
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第27回大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 門脇誠二
2. 発表標題 人類最古の農業の発生と拡散－肥沃な三日月地帯を中心に－
3. 学会等名 かすがい熟年大学（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Seiji Kadowaki
2. 発表標題 Multiple Pathways to the Upper Paleolithic? Geographic Variability in the Middle to Upper Paleolithic Transition in the Levant
3. 学会等名 Insights Into Human History in the Eurasian Stone Age: Recent Developments in Archaeology, Palaeoanthropology, and Genetics （招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Nakazawa, T., Osawa, M., Kadowaki, S.
2. 発表標題 Measurement of deamidation rate of glutamine residues in archaeological protein samples with mass spectrometry
3. 学会等名 第95回 日本生化学会大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Kadowaki, S.
2. 発表標題 Challenges in dating and reconstructing cultural dynamics during the global expansions of anatomically modern humans and agriculture
3. 学会等名 Institute for Space-Earth Environmental Research (ISEE) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Kazunobu Ikeya and Seiji Kadowaki
2. 発表標題 Ethno-archaeological approach to water sources and bird hunting near Paleolithic sites in the Jebel Qalkha area, southern Jordan
3. 学会等名 The Archaeozoology of Southwest Asia and Adjacent Areas 15th International meeting (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 門脇誠二
2. 発表標題 ヨルダンの旧石器遺跡に探るホモ・サピエンス繁栄の謎
3. 学会等名 地底の森ミュージアム考古学講座 - 旧石器時代を探る - (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 門脇誠二、廣瀬允人、須賀永帰、殷健杰、木元菜奈子、オダイ・タラウネ、ドナルド・ヘンリー
2. 発表標題 ホモ・サビエンスの拡散・定着期における文化動態-南ヨルダン、カルハ山の旧石器遺跡調査(2022年)-
3. 学会等名 第30回西アジア発掘調査報告会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Nishiaki, Y. and F. Guliyev
2. 発表標題 Neolithization of the Southern Caucasus as viewed from the Middle Kura of Azerbaijan.
3. 学会等名 The International Association for Archaeological Research in Western & Central Asia, Lecture Series (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Nishiaki, Y. and Y. Kanjou
2. 発表標題 Northern Natufian at the Dederiyeh Cave, North Syria.
3. 学会等名 The International Association for Archaeological Research in Western & Central Asia, Lecture Series (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Teshik-Tash Neanderthal lithic industry in the context of Neanderthal dispersals.
3. 学会等名 International Conference "Insight into Human History" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Damjili Cave revisited: Prehistoric excavations between 2016 and 2022.
3. 学会等名 International scientific conference on "Azikh cave - the cradle of Homo genius: of Mammadali Huseynov's researches" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 The University of Tokyo 's Research into the Neolithization of Southwest Asia.
3. 学会等名 The 15th International Conference on the Zooarchaeology of Southwest Asia. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Neolithic Sickles of Upper Mesopotamia and South Caucasus (II).
3. 学会等名 The 10th International Conference on the PPN Chipped and Ground Stone Industries of the Near East. (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Ikeyama, F., F. Guliyev and Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Seeking Obsidian Exploitation/Exchange Networks of the Neolithic Communities at Goytepe, West Azerbaijan.
3. 学会等名 The 10th International Conference on the PPN Chipped and Ground Stone Industries of the Near East. (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 表面採集石器から見たヒルベトスワン遺跡の年代
3. 学会等名 地球科学研究センター第16回研究会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 西アジア新石器時代の鎌と鎌刃
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第27回総会・大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 鈴木美保・小林豊・西秋良宏・田村光平
2. 発表標題 日本列島後期旧石器時代石器技術の時空間的位置づけ：アジアの中の日本列島
3. 学会等名 日本旧石器学会第20回総会・大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 西秋良宏・ヤコブ ママドフ・ウルピア ヘイダロヴァ・三木健裕・仲田大人・新井才二・池山史華・田辺勘太郎・宮井しづか
2. 発表標題 南コーカサス地方の新石器時代-日本・アゼルバイジャン調査団第13次発掘調査（2022年）
3. 学会等名 第30回西アジア発掘調査報告会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 松井孝典・西秋良宏・下釜和也・ジェラルド・ウルダー・森脇涼太・多田賢弘・鈴木健太・新井才二
2. 発表標題 南東アナトリア先土器新石器時代の丘上遺跡-ハルベトスワン・テベシ遺跡の第一次調査(2022年)-
3. 学会等名 第30回西アジア発掘調査報告会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Qiaola S., Nguyen, T.M.L., Ta, T.K.O., Nguyen, V.L., Gugliotta, M., Saito, Y., Kitagawa, H., Nakashima, R., Tamura, T.
2. 発表標題 Optically-stimulated luminescence dating of Holocene sediment cores from a wave-dominated delta in central Vietnam
3. 学会等名 16th International Luminescence and ESR Dating Conference (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Miki, T., Kuro uma, T., Kitgawa, H., Kondo, K.
2. 発表標題 An excavation of the cave site Mughara al-Kahf, Wadi Tanuf, Oman: Towards understanding of human activities of the Wadi Suq period
3. 学会等名 2021 ASOR Annual Meeting Virtual Component (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 カレバルピネン, 大槻久, 若野友一郎
2. 発表標題 島サイズと各島の繁殖力が空間的に非一様なモデルにおける分散率の進化
3. 学会等名 2021年日本数理生物学会年会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kitagawa, H.
2. 発表標題 A compact ECR ion source using a 2.45 GHz solid-state microwave generator for generating C+ ion beam
3. 学会等名 AMS15(The 15th International Conference on Accelerator Mass Spectrometry) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 北川浩之
2. 発表標題 名古屋大学加速器質量分析装置の現状報告
3. 学会等名 AMS研究協会総会 (AMS施設・現状報告会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Management of The University Museum, The University of Tokyo, Japan
3. 学会等名 AUA Academic Conference on Co-Curating Flipped Museums for Asian Civilization: A Blended Research and Teaching Approach. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Miki, T., Kuronuma, T., Kitagawa, H., Kondo, Y.
2. 発表標題 Development of Cultural Landscapes in the Canyon of Al-Hajar mountains: Survey and Excavation at Wadi Tanuf 2019-2020
3. 学会等名 Seminar for Arabian Studies 2021 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1 . 発表者名 Kadowaki, S., T. Tamura, H. Hasegawa, R. Kida, M. Hirose, E. Suga, and D. O. Henry
2 . 発表標題 The Middle to Upper Paleolithic transition in the Jebel Qalkha area, southern Jordan
3 . 学会等名 The 10th meeting of Asian Paleolithic Association (国際学会)
4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 Odaka, T., O. Maeda, K. Shimogama, Y. S. Hayakawa, Y. Nishiaki, N. A. Mohammed and K. Rasheed
2 . 発表標題 Investigating the Late Neolithic in the Shahrizor Plain, Iraqi Kurdistan: Excavations at Shakar Tepe, the first season (2019)
3 . 学会等名 The 12th International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East (国際学会)
4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 Nishiaki, Y.
2 . 発表標題 Chalcolithic lithic industries of the fifth millennium BC in Fars, south Iran
3 . 学会等名 The 12th International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East (国際学会)
4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 Nishiaki, Y.
2 . 発表標題 Neolithic lithic industries of West Zagros
3 . 学会等名 The International Congress on the Revisiting the Hilly Flanks (国際学会)
4 . 発表年 2021年

1. 発表者名 Guliyev, F. and Y. Nishiaki
2. 発表標題 Excavations of the Neolithic site of Goytepe, azerbaijan
3. 学会等名 The International Workshop “ The Neolithic Transition in the Caspian Sea Regions (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Arai, S. and Y. Nishiaki
2. 発表標題 Faunal remains of the Mesolithic-Neolithic sites in the South Caucasus
3. 学会等名 The International Workshop “ The Neolithic Transition in the Caspian Sea Regions (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 新人のアジア拡散を調べるためのデータベース
3. 学会等名 パレオアジア文化史学 総括講演会「アジアの新人文化はどのように形成されたか？」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 趣旨説明
3. 学会等名 パレオアジア文化史学 総括講演会「アジアの新人文化はどのように形成されたか？」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 野林厚志
2. 発表標題 民族誌の比較からみた文化の多様性と生態環境との関係
3. 学会等名 パレオアジア文化史学 総括講演会「アジアの新人文化はどのように形成されたか？」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 中央ザグロス地方の新石器化と石器分析
3. 学会等名 ザグロス山麓先史考古学プロジェクト第1回研究会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Collins Daniel, Nguyen Van Lap, Ta Thi Kim Oanh, Mao Limi, 石井祐次, 北川浩之, 中島 礼, 田村 亨
2. 発表標題 ベトナム南部Can Giolにおけるデルタ縁辺マングローブの長期発達
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2021年大会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 若野友一郎
2. 発表標題 新人と旧人の生態文化的分布拡大の数理モデル（二重波モデル）
3. 学会等名 パレオアジア文化史学 総括講演会「アジアの新人文化はどのように形成されたか？」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 門脇誠二
2. 発表標題 アジアに新人が拡散・定着した時期の遺跡調査
3. 学会等名 パレオアジア文化史学 総括講演会「アジアの新人文化はどのように形成されたか？」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 北川浩之
2. 発表標題 新人がアジアに拡散・定着したころの古環境
3. 学会等名 パレオアジア文化史学 総括講演会「アジアの新人文化はどのように形成されたか？」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西秋良宏・O.アリプジャノフ
2. 発表標題 中央アジア山岳地帯の新石器時代 ウズベキスタン、カイナル・カマル遺跡の調査（2012-2019年）
3. 学会等名 考古学が語る古代オリエント-第29回西アジア発掘調査報告会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 中沢隆・大澤桃子・門脇誠二・西秋良宏
2. 発表標題 南ヨルダン・Tor Hamar遺跡から出土した2万年前の動物歯コラーゲンの質量分析によるガゼルの同定
3. 学会等名 第94回日本生化学会大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 知らない人々と暮らす仕組み：考古学的な見方
3. 学会等名 東京大学教養学部フロンティア講義（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 西アジアと中央アジアの先史時代
3. 学会等名 東京大学総合研究博物館ボランティア講演会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 門脇誠二・池谷和信・近藤康久
2. 発表標題 南ヨルダン、カルハ山の旧石器遺跡群近郊の水場に関する民族誌調査と地形解析
3. 学会等名 日本オリエント学会 第63回年次大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 須賀永輝・一ノ瀬菜月・東田和弘・門脇誠二
2. 発表標題 南ヨルダンの中部～上部旧石器時代における石器石材利用の変化
3. 学会等名 日本旧石器学会 第19回大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 川村秀儀・長谷川精・門脇誠二
2. 発表標題 南ヨルダンの遺跡堆積物から探る後期更新世の古環境復元とホモ・サピエンス拡大との関係性
3. 学会等名 日本地質学会 第21回四国支部 総会・講演会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ishiyama, S., H. Nawata, H. Mikuni, and Y. Nishiaki
2. 発表標題 Using scientific results to benefit local people by working together at In Belbel Oasis, Algeria: In accordance with the will of the late Professor Iwao Kobori, the Japanese human geographer.
3. 学会等名 The International Conference on Anthropology and Geography: Dialogues Past, Present and Future (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Nakazawa, T., M. Osawa, M. Inuzuka, K. Kawahara, S. Kadowaki, and Y. Nishiaki
2. 発表標題 Mass spectrometric identification of collagen preserved in Paleolithic animal remains
3. 学会等名 The 68th ASMS Conference on Mass Spectrometry and Allied Topics (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Comments on Session 49
3. 学会等名 The International Conference on Anthropology and Geography: Dialogues Past, Present and Future (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 池山史華・大沼克彦・F. キリエフ・西秋良宏
2. 発表標題 南コーカサス地方新石器時代における、槌子式押圧剥離法による黒曜石製石刃製作技術と その変異-ギョイテペ遺跡及びハッジ・エラムハンル・テペ遺跡資料の分析を中心に-
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第25回総会・大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小高敬寛・前田 修・下釜和也・早川裕弐・西秋良宏・ナシルワンA ムハンマド・カマル ラシード・西秋良宏
2. 発表標題 イラク・クルディスタン、シャカル・テペ遺跡の後期新石器時代層
3. 学会等名 日本オリエント学会第62回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小林 豊・田村光平・鈴木美保・中村光宏・西秋良宏
2. 発表標題 パレオアジアデータベースを用いた探索的分析の概略
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第9回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小林 豊・田村光平・鈴木美保・中村光宏・加藤真二・中川和哉・高倉 純・山岡拓也・野口 淳・近藤康久・西秋良宏
2. 発表標題 パレオアジアモード存在・非存在データの探索的統計解析
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第10回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 開会挨拶
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第9回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 閉会挨拶
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第9回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 中央アジア西部の中期旧石器時代石器群 - テシクタシュ洞窟出土資料を中心に
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第9回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 ホモ・サピエンスの拡散と旧人 ヒトと文化の交替劇
3. 学会等名 移動の価値とモビリティの未来セミナー
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 開会挨拶
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第10回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 パレオアジアDBの構築について
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第10回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 ご挨拶
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第5回トップランナーズセミナー
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 デデリエ洞窟の資料
3. 学会等名 アインダーラ文化財セミナー
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 ご挨拶
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第3回パイオニアセミナー
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 ご挨拶
3. 学会等名 第28回西アジア発掘調査報告会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西秋良宏・O. アリプジャノフ
2. 発表標題 北ユーラシアの旧人・新人交替劇 ウズベキスタン旧石器遺跡調査(2012-2019年)
3. 学会等名 第28回西アジア発掘調査報告会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西秋良宏・F. キリエフ・A. ザイナロフ
2. 発表標題 南コーカサス地方の新石器時代 アゼルバイジャン発掘調査2008-2019年
3. 学会等名 第28回西アジア発掘調査報告会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 宮田佳樹・下釜和也・堀内晶子・宮内信雄・新井才二・赤司千恵・吉田邦夫・V. アラクバロフ・西秋良宏・F. キリエフ
2. 発表標題 南コーカサス新石器時代土器の脂質分析-土器の機能と乳利用の有無をめぐって-
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第25回総会・大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 犬塚ま子・苅野茉央・大澤桃子・門脇誠二・西秋良宏・中沢 隆
2. 発表標題 新石器時代の動物骨に残存するI型コラーゲンの質量分析によるヒツジとヤギの種の判定
3. 学会等名 日本生化学会第93回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 出穂雅実・門脇誠二・太田博樹
2. 発表標題 北東アジアにおける現生人類拡散プロセスのいくつかの問題：最初のアメリカ人に関する研究の進展から
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第9回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 門脇誠二
2. 発表標題 古代東西ユーラシア集団の南北ルート拡散仮説に対する考古学的検証の試み
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第9回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 門脇誠二・若野友一郎
2. 発表標題 生態文化モデルをアジアへの新人拡散に適用する見通しと問題点
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第10回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 内藤裕一・H. Bocherens・門脇誠二
2. 発表標題 ヨルダン・Tor Hamar遺跡における旧石器時代人の狩猟行動：最新の分析状況について
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第9回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 中沢 隆・大澤桃子・門脇誠二
2. 発表標題 Tor Hamar遺跡の旧石器時代の動物歯から抽出したコラーゲンの質量分析による動物種の判定
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第10回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 中沢 隆・大澤桃子・犬塚ま子・門脇誠二・西秋良宏
2. 発表標題 動物の考古遺体から抽出したコラーゲンの質量分析による経年劣化状況の解析
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第9回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大澤桃子・門脇誠二・中沢 隆
2. 発表標題 南ヨルダンのTor Hamar遺跡における旧石器時代の動物歯の質量分析による種同定
3. 学会等名 日本生化学会第93回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 田村 亨・木田梨沙子・門脇誠二
2. 発表標題 死海地溝帯南部東縁の後期更新世湖・河川堆積物のOSL年代
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第10回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 田村 亨・木田梨沙子・門脇誠二
2. 発表標題 死海地溝帯南部の後期更新世湖・河川堆積物のpIRIR年代
3. 学会等名 ESR応用計測研究会、ルミネッセンス年代測定研究会、フィッション・トラック研究会 2020年度合同研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 若野友一郎
2. 発表標題 ワークショップ趣旨説明：新人と新人的文化の拡散ルート：遺伝学からの示唆と考古学からの示唆
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第9回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 若野友一郎・青木健一
2. 発表標題 北ルートと南ルートを含む生態文化的分布拡大モデルの開発
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第9回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 野林厚志
2. 発表標題 台湾における人類集団の連続性の生態・民族誌的検証
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第10回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 野林厚志・中村光宏
2. 発表標題 新旧技術が並存するためのニッチ条件の民族学的、数理的解釈
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第9回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 近藤康久・三木健裕・黒沼太一・北川浩之
2. 発表標題 南東アラビア山麓峡谷における人類の定着と環境：4年間のまとめと今後の展望
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第10回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 藤本透子・菊田 悠
2. 発表標題 中央アジアにおける諸集団の変遷と物質文化 - 草原とオアシスの文化人類学調査から
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第9回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 The Palaeolithic diffusion of pressure technology from the Far East to the Near East
3. 学会等名 The International Congress -The East 1 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Issues on the early farming societies in the South Caucasus
3. 学会等名 International workshop: Early Farming Societies of the Southern Caucasus - 10 Years of Archaeological Discoveries of Japanese and French Expeditions (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Introduction.
3. 学会等名 International Workshop on the Neolithic of Anatolia. The Turkish Ministry of Culture and Tourism and the University of Tokyo (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 シリアからコーカサスへ：1万年前の社会変革
3. 学会等名 岡山市立オリエン特美術館特別講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 南コーカサス地方中期旧石器時代石器群の編年と系統
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第24回総会・大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 領域代表挨拶
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第7回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 西アジア中期旧石器時代の石刃について
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第7回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 廣瀬允人・内藤裕一・門脇誠二・新井才二・西秋良宏
2. 発表標題 安定同位体分析を用いた南コーカサス初期農耕社会における家畜利用の考察
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第24回総会・大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 池山史華・F. キリエフ・西秋良宏
2. 発表標題 南コーカサス地方新石器時代における押圧石刃生産技術の検討 - ギョイテペ遺跡出土資料の分析を中心に
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第24回総会・大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 金成太郎・F. キリエフ・西秋良宏
2. 発表標題 南コーカサス、クラ川中流域における新石器時代の黒曜石利用
3. 学会等名 第36回日本文化財科学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 宮田佳樹・下釜和也・堀内晶子・宮内信雄・新井才二・赤司千恵・吉田邦夫・V. アラクパロフ・西秋良宏・F. キリエフ
2. 発表標題 ギョイテペ遺跡出土土器の脂質分析-コーカサス初期農耕民の乳利用
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第24回総会・大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大澤桃子・中沢 隆・新井才二・門脇誠二・西秋良宏
2. 発表標題 旧石器時代と新石器時代の動物骨と歯に含まれるコラーゲンの質量分析による動物種の判定
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第24回総会・大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 澤藤りかい・若林 賢・覚張隆史・勝村啓史・小川元之・内藤裕一・木村亮介・石田 肇・西秋良宏・太田博樹
2. 発表標題 アゼルバイジャンの古人骨ゲノム解析(予報)
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第7回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Akashi, C., A. Zeynalov, M. Mansurov, F. Guiliev, and Y. Nishiaki
2. 発表標題 Farmers or gatherers? The first archaeobotanical study on the Mesolithic South Caucasus
3. 学会等名 The 18th International Work Group on Palaeoethnobotany (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 開会挨拶
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第8回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中沢 隆・大澤桃子・門脇誠二・西秋良宏
2. 発表標題 新・旧石器時代の動物遺体に含まれるコラーゲンの質量分析のための新規化学処理法
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第8回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 閉会挨拶
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第8回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 みんなの矢と槍
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第8回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Introduction
3. 学会等名 The 9th International Conference on the PPN Chipped and Ground Stone Industries of the Near East (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 A Levantine view to Jomon culture of the Japanese Archipelago
3. 学会等名 The 9th International Conference on the PPN Chipped and Ground Stone Industries of the Near East (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Dispersals of the Anatolian Neolithic to the North
3. 学会等名 Workshop on the Neolithic of Anatolia (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Kaynar Kamar, a new Mesolithic-Neolithic site in south Uzbekistan.
3. 学会等名 Special Seminar at Berlin Free University (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Nishiaki, Y., A. Zeynalov, M. Mansurov, and E. Babazade
2. 発表標題 The Mesolithic and Neolithic flaked stone assemblages from Damjili Cave, west Azerbaijan
3. 学会等名 The 9th International Conference on the PPN Chipped and Ground Stone Industries of the Near East (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 赤司千恵・M. マンスーロフ・A. ゼイナロフ・西秋良宏
2. 発表標題 洞窟遺跡における植物利用：ダムジリ遺跡の事例（アゼルバイジャン）
3. 学会等名 第34回日本植生史学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 ネアンデルタール人の西アジアへの拡散と気候変動
3. 学会等名 気候変動と古代西アジア - 古気候から探る文化・文明の興亡
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Belmaker, M., T. Tamura, and S. Kadowaki
2. 発表標題 Modern human adaptability to hot and dry environments: The faunal evidence from Tor Hamar F, Southern Jordan
3. 学会等名 2019 annual meeting of Paleoanthropology Society (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 犬塚ま子・伊藤優貴・苅野茉央・山田里奈・藪中 遥・門脇誠二・西秋良宏・中沢 隆
2. 発表標題 質量分析による新石器時代の動物骨中のアミノ酸配列解析と動物種の同定
3. 学会等名 日本生化学会第92回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kadowaki, S.
2. 発表標題 Spatial analysis of Neolithic chipped and ground stone artifacts at Hacı Elamxanlı Tepe in the southern Caucasus
3. 学会等名 The 9th International Conference on the PPN Chipped and Ground Stone Industries of the Near East (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kadowaki, S.
2. 発表標題 News from the desert: Stone Age behaviors and population changes from Neanderthals to modern humans in the Levant
3. 学会等名 Stone Age Science: Insights into the Deep Human Past, (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 門脇誠二
2. 発表標題 西アジアにおける小石刃技術の出現プロセス：多様性のモデル化と要因の検討に向けて
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第7回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 門脇誠二
2. 発表標題 レヴァント地方の中部旧石器後期～続旧石器中期における石器刃部獲得効率の変化
3. 学会等名 日本旧石器学会第17回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 門脇誠二
2. 発表標題 コメント：西アジアの新人定着期における資源利用行動
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第8回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 門脇誠二
2. 発表標題 レヴァント内陸の乾燥地帯における旧石器人の適応行動と文化変遷
3. 学会等名 気候変動と古代西アジア 古気候から探る文化・文明の興亡
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 門脇誠二・廣瀬允人・須賀永帰・東田和弘
2. 発表標題 南ヨルダンのカルハ山旧石器遺跡群の近郊における新たな石材産地の発見
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第8回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kadowaki, S., T. Tamura, H. Hasegawa, T. Kurozumi, H. Kitagawa, F. Watanabe Nara, R. Kida, M. Hirose, and D.O. Henry
2. 発表標題 Re-investigation of two Initial Upper Paleolithic sites in the Jebel Qalkha, southern Levant: Lithic technology, chronology, marine shells, and paleoenvironment
3. 学会等名 XX International Union for Quaternary Research (INQUA) Congress (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 門脇誠二・田村 亨・佐野勝宏・黒住耐二・廣瀬允人・木田梨沙子
2. 発表標題 南レヴァント内陸部における上部旧石器時代初期の新たな記録：ヨルダン、ワディ・アガル遺跡の研究
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第24回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 内藤裕一・M. Belmaker・H. Bocherence・門脇誠二
2. 発表標題 カゼルの歯の酸素同位体比からみたTor Hamarにおける狩猟活動（第3報）
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第7回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Naito, Y.I., M. Belmaker, H. Bocherens, T. Nakazawa, M. Osawa, C. Wissing, and S. Kadowaki
2. 発表標題 Gazelle hunting activities around Tor Hamar rock-shelter in Jordan viewed from carbon and oxygen isotopic compositions of tooth enamel and ZooMS
3. 学会等名 International Symposium on Paleoanthropology in Commemoration of the 90th Anniversary of the Discovery of the First Skullcap of Peking Man (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 内藤裕一・門脇誠二
2. 発表標題 カゼルの歯の炭素・酸素同位体比からみたヨルダン・TorHamar遺跡における旧石器時代人の狩猟活動
3. 学会等名 日本旧石器学会第17回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 田村 亨・木田梨沙子・門脇誠二
2. 発表標題 OSL年代によるヨルダンJebel Qalkhal旧石器遺跡の複合層序
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第7回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 若野友一郎・門脇誠二・青木健一
2. 発表標題 上部旧石器の起源地が新人の起源地とは異なる場合の生態文化的分布拡大モデル
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第7回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Wakano, J. Y. and Y. Kobayashi
2. 発表標題 On the diffusion limit of a model of cultural evolution
3. 学会等名 第29回日本数理生物学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Wakano, J. Y. and Y. Kobayashi
2. 発表標題 On the diffusion limit of a model of cultural evolution
3. 学会等名 ReaDiNet 2019, Mathematical Analysis for Biology and Ecology
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小林豊・中村光宏・若野友一郎・青木健一
2. 発表標題 popularity spectrumの理論と文化の0,1データへの応用について
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第8回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 野林厚志
2. 発表標題 肉食行為の人類史
3. 学会等名 南開大学招待講演（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nobayashi, A.
2. 発表標題 Historical Ecology of Bird Augury in Austronesian Culture
3. 学会等名 Human-bird Entanglements in the Pacific Anthropocene, AAA/CASCA Annual Meeting（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 野林厚志
2. 発表標題 ハルマヘラ島における生態資源利用
3. 学会等名 アジアにおける狩猟採集民--生態学的適応と社会関係（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 野林厚志
2. 発表標題 台湾原住民族の生態資源獲得の技術に関する研究-狩猟方法を中心に
3. 学会等名 第12届台日原住民族研究論壇（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 野林厚志
2. 発表標題 生業技術の変化の文化的解釈 ハルマヘラ・ガレラ族の漁船の形態からの考察
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第8回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 野林厚志・高木 仁・彭 宇潔
2. 発表標題 パレオアジア民族誌DBの構築に向けて(1) - 狩猟技術データ投影の試行
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第7回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小林 豊・野林厚志・中村光宏
2. 発表標題 0,1ベクトルモデルはデータと比較可能か？
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第7回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 彭 宇潔・高木 仁・野林厚志
2. 発表標題 パレオアジア民族誌DBの構築に向けて(2) スンダ - サフル生態圏における狩猟用具の素材と形状に着目して」
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第8回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 北川浩之・山根雅子
2. 発表標題 上部旧石器時代初頭(IUP)期の炭素14年代測定結果の評価
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第7回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 北川浩之・山根雅子
2. 発表標題 乾燥地域の定量的な気候復元 ジブサム水和水の酸素・水素同位体比
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第7回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤木利之・奥野 充・北川浩之
2. 発表標題 青森県出来島海岸最終氷期堆積物における5万年前以降の植生変遷
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第7回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 近藤康久・三木健裕・黒沼太一・北川浩之
2. 発表標題 オマーン、ワディ・タヌーフ1号洞穴の試掘結果と年代について
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第7回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 北川浩之・奥泉舞桜
2. 発表標題 気候適応および東アジア・東南アジアへの現生人類の拡散
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第8回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 北川浩之・奥泉舞桜
2. 発表標題 気候の地理的な違いを考慮した人類拡散モデルの構築
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第8回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 田村 亨・野口 淳・石井祐次・北川浩之
2. 発表標題 パキスタン Thar砂漠堆積物のOSL年代による石器年代の制約
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第8回研究大会
4. 発表年 2019年

1 . 発表者名 Yamane, M., Yokoyama, Y., Matsuzaki, H., Takemura, K. and Kitagawa, H.
2 . 発表標題 Interpreting 10Be records in sediments with a chemometric analysis of optical properties
3 . 学会等名 8th East Asia Accelerator Mass Spectrometry Symposium
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Kitagawa, H., Wong, H., Hayashida, and Takemura, K.
2 . 発表標題 Chemometric analysis of 14C and Fourier transform infrared spectra to improve the chronology of Lake Biwa Sediment core
3 . 学会等名 8th East Asia Accelerator Mass Spectrometry Symposium
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 T. Nakamura, M. Minami, H. Oda, A. Ikeda, M. Yamane, M. Nishida, Y. Wakasugi, R. Sato, H. Sawada and H. Kitagawa
2 . 発表標題 Present status and application studies with HVE 14C AMS system at Nagoya University
3 . 学会等名 8th East Asia Accelerator Mass Spectrometry Symposium
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Nakazawa, T., M. Osawa, K. Matsuo, M. Inuzuka, Y. Ito, K. Kawahara, Y. Naito, S. Kadowaki, and Y. Nishiaki
2 . 発表標題 Identification of animal species by Mass Spectrometry of collagen extracted from Neolithic and Paleolithic bones and teeth.
3 . 学会等名 67th ASMS Conference on Mass Spectrometry and Allied Topics (ASMS), Atlanta, USA.
4 . 発表年 2019年

1. 発表者名 Fujimoto, T.
2. 発表標題 Perspektivy etnograficheskogo issledovaniya kazakhov v Yaponii: Altaiskie materialy v Natsional'nom muzee etnologii
3. 学会等名 International Roundtable Discussion "Altay in History and Culture of the Great Steppe"
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Fujimoto, T.
2. 発表標題 Etnologicheskoe issledovanie Bayanaul'skogo regiona s vzglyada yaponskogo issledovatelya
3. 学会等名 History and Culture of the Great Steppe
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤本透子
2. 発表標題 中央アジア草原地帯における肉の共食の社会的意味
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第7回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤本透子
2. 発表標題 移動する集団の行動パターンとその痕跡 中央アジア草原地帯の事例から
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第8回研究大会
4. 発表年 2019年

1 . 発表者名 Nishiaki, Y.
2 . 発表標題 Itinerant knappers at Neolithic villages in northern Mesopotamia?
3 . 学会等名 the 18th UISPP (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Kato, S., K. Tamura, T. Yamaoka, M. Suzuki, Y. Nishiaki and H. Magara
2 . 発表標題 Chrono-Spatial Patterning of the Late Pleistocene Lithic Assemblages from East and Southeast Asia.
3 . 学会等名 The 9th Meeting of the Asian Paleolithic Association. (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 KATO S., K. TAMURA, T. YAMAOKA, M. SUZUKI, Y. NISHIAKI and H. MAGARA
2 . 発表標題 Chrono-spatial patterning of the Late Pleistocene lithic assemblages from East and Southeast Asia
3 . 学会等名 The 9th Meeting of the Asian Paleolithic Association (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Nishiaki, Y.
2 . 発表標題 New data on the Neolithisation of Central Asia
3 . 学会等名 International Seminar on Archaeology of Central Asia (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1. 発表者名 西秋良宏・O. アリプジャノフ・R. スレイマノフ・O. エンゲシェッド・B. セイフライエフ・仲田大人・新井オニ・野口 淳
2. 発表標題 北ユーラシアの旧人・新人交替劇 第6次ウズベキスタン旧石器遺跡調査(2018年)
3. 学会等名 第26回西アジア発掘調査報告会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西秋良宏・A. ザイナロフ・M. マンスロフ・U. ヘイダロヴァ・下釜和也・赤司千恵・新井オニ・桐原弘宣
2. 発表標題 南コーカサス地方の新石器時代 日本・アゼルバイジャン調査団第11次発掘調査(2019年)
3. 学会等名 第26回西アジア発掘調査報告会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nishiaki, Y. and E. Baudouin
2. 発表標題 In pursuit of the origins of farming societies in the Fertile Crescent and beyond
3. 学会等名 The French Research Day in Japan 2018/ the 15th Anniversary of the French-Japanese SAKURA Program (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Emergence and development of pressure debitage in Central and Western Asia
3. 学会等名 the 9th Conference of the Asian Paleolithic Association (国際学会)
4. 発表年 2018年

1 . 発表者名 Nishiaki, Y. and F. Guliyev
2 . 発表標題 Mobility and sedentism in the Mesolithic-Neolithic contact period of the Southern Caucasus
3 . 学会等名 The Twelfth International Congress on Hunting and Gathering Societies (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Nishiaki, Y. and F. Guliyev
2 . 発表標題 Gender perspectives on Neolithization in the Southern Caucasus
3 . 学会等名 The Eleventh International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Arai, S., A. Zeynalov, F. Guliyev, O. Aripdjanov, and Y. Nishiaki
2 . 発表標題 To the East: Recent zooarchaeological studies concerning the spread of domesticated animals into Southern Caucasus and Central Asia
3 . 学会等名 13th ICAZ International Conference (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Joeris, O., J. Banea and Y. Nishiaki
2 . 発表標題 Becoming Specialists, From Imitation to Professionalism: A Palaeolithic to Neolithic Perspective
3 . 学会等名 the XVIII UISPP World Congress (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1. 発表者名 Nakazawa, T., M. Karino, S. Arai, K. Ohnishi, K. Kawahara, Y. Taniguchi, A. Tsuneki, S. Kadowaki and Y. Nishiaki
2. 発表標題 Mass Spectrometry of collagen preserved in Neolithic animal bones for the identification of species
3. 学会等名 The 66th ASMS Conference on Mass Spectrometry and Allied Topics (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shikaku, R., H. Nojima, M. Hoshino, K. Uesugi, N. Yagi, H. Okamura, and Y. Nishiaki
2. 発表標題 Image and metalworking technology: Bimetallic sword from northern Iran
3. 学会等名 The Eleventh International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 ザグロス地方中期旧石器時代石器群の変異
3. 学会等名 日本オリエント学会第59回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 先史時代のユーラシア
3. 学会等名 シルクロード新世紀 公開講演会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 中期旧石器時代前半における新人の北ユーラシア拡散可能性について
3. 学会等名 日本旧石器学会2018年度総会・研究発表
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 アゼルバイジャンにおける考古遺跡の保護・活用の課題について
3. 学会等名 文化遺産国際協力コンソーシアム第31回西アジア分科会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西秋良宏・ソニア シドラング・小高敬寛・仲田大人・新井才二
2. 発表標題 イラン南西部マルヴダシュト平原の旧石器-先土器新石器時代遺跡群
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第22回総会・大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 西アジアにおける押圧剥離技術の出現と展開について
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第22回総会・大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 考古学からみる狩猟採集・農耕社会の接触と交替 西アジアと周辺の場合
3. 学会等名 日本考古学協会第84回総会セッション：新人の拡散と先住集団との文化的交替 完新世考古学・民族学からみた展望
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 赤司千恵・門脇誠二・F. キリエフ・西秋良宏
2. 発表標題 南コーカサスにおけるヨモギ属 (<i>Artemisia</i> sp.) 利用史
3. 学会等名 第33回日本植生史学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 近藤康久・西秋良宏
2. 発表標題 人文学の可視化による学融合領域の創出-人文学と情報学のチームサイエンス
3. 学会等名 第32回人間文化研究機構シンポジウム『人文知による情報と知の体系化-異分野融合で何をつくるか』
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 宮田佳樹・下釜和也・堀内晶子・宮内信雄・新井才二・赤司千恵・吉田邦夫・松崎浩之・西秋良宏
2. 発表標題 土器残存脂質分析からみた南コーカサス初期農耕民の土器利用
3. 学会等名 第33回日本植生史学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田村光平・加藤真二・鈴木美保・高倉 純・中川和哉・野口 淳・山岡拓也・西秋良宏
2. 発表標題 パレオアジアDB石器データ時空間動態の可視化
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学第6回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中村光宏・加藤真二・鈴木美保・中川和哉・野口 淳・山岡拓也・西秋良宏
2. 発表標題 石器データの統計的性質から推測される文化の拡散メカニズム
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学第6回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西秋良宏・北川浩之・田村 亨
2. 発表標題 中央アジア中期旧石器時代編年の諸問題
3. 学会等名 「パレオアジア文化史学」第6回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田村光平・加藤真二・鈴木美保・高倉 純・中川和哉・野口 淳・山岡拓也・西秋良宏
2. 発表標題 パレオアジアDB石器データ時空間動態の可視化
3. 学会等名 「パレオアジア文化史学」第6回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中村光宏・加藤真二・鈴木美保・中川和哉・野口 淳・山岡拓也・西秋良宏
2. 発表標題 石器データの統計的性質から推測される文化の拡散メカニズム
3. 学会等名 「パレオアジア文化史学」第6回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田村 亨・西秋良宏・門脇誠二・国武貞克
2. 発表標題 中央・西アジア旧石器時代遺跡のOSL特性の多様性
3. 学会等名 「パレオアジア文化史学」第6回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中沢 隆・門脇誠二・西秋良宏
2. 発表標題 アゼルバイジャンから出土した新石器時代のヤギおよびヒツジの骨に含まれるコラーゲンの 質量分析
3. 学会等名 「パレオアジア文化史学」第6回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 パレオアジア・プロジェクトとは
3. 学会等名 PaleoAsia 2018 公開講演会「アフリカからアジアへ」-現生人類の起源と拡散- (国際学会)
4. 発表年 2018年

1 . 発表者名 Kobayashi, Y., M. Nakamura, K. Tamura, K. Aoki, S. Kurokawa, J. Y. Wakano, S. Kato , M. Suzuki, J. Takakura, K. Nakagawa, A. Noguchi, T. Yamaoka, and Y. Nishiaki
2 . 発表標題 Analysis of archaeological data based on 0,1-vector models
3 . 学会等名 PaleoAsia2018 International Workshop (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Nishiaki, Y.
2 . 発表標題 Patterns in the formative processes of modern human cultures in Asia
3 . 学会等名 PaleoAsia2018 International Workshop (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Akashi, C., F. Guliyev, A. Zeynalov, M. Mansurov, and Y. Nishiaki
2 . 発表標題 Replacement or assimilation?: Plant exploitation in the Mesolithic-Neolithic contact period of the South Caucasus
3 . 学会等名 PaleoAsia2018 International Workshop (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Nakazawa, T., M. Osawa, K. Matsuo, M. Inuzuka, Y. Ito, S. Kadowaki, and Y. Nishiaki
2 . 発表標題 Identification of animal species by mass spectrometry of collagen preserved in Neolithic and Paleolithic bone specimens
3 . 学会等名 PaleoAsia2018 International Workshop (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1. 発表者名 Nakamura, M., K. Tamura, K. Aoki, Y. Kobayashi, S. Kurokawa, J. Y. Wakano, S. Kato, M. Suzuki, J. Takakura, K. Nakagawa, A. Noguchi, T. Yamaoka, and Y. Nishiaki
2. 発表標題 Statistical analyses of archaeological cultures based on 0,1-vector models
3. 学会等名 PaleoAsia2018 International Workshop (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田村光平・加藤真二・山岡拓也・西秋良宏
2. 発表標題 東アジア中・後期旧石器石器群類型化の試み(第2報)
3. 学会等名 「パレオアジア文化史学」第5回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 レヴァント地方前期ムステリアンの諸問題
3. 学会等名 「パレオアジア文化史学」第5回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Belmaker, M., H. Bocherens, Y. Naito, H.D. O'Brien, C. Wissing, T. Tamura, and S. Kadowaki
2. 発表標題 Paleoenvironmental studies Tor Hamar, southern Jordan:Early modern human behavioral adaptability during MIS 3
3. 学会等名 The 88th Annual Meeting of the American Association of Physical Anthropologists (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 長谷川精・門脇誠二・田村亨・奈良郁子
2. 発表標題 南ヨルダンの中部・上部・終末期旧石器時代遺跡堆積物からの古環境復元の試みと西アジアの古気候との比較
3. 学会等名 「パレオアジア文化史学」第5回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Inuzuka, M., Y. Ito, M. Osawa, K. Matsuo, M. Karino, S. Kadowaki, Y. Nishiaki, and T. Nakazawa
2. 発表標題 Amino acid sequencing of collagen extracted from archaeological samples for the identification of animal species by mass spectrometry
3. 学会等名 The 91st Annual Meeting of the Japanese Biochemical Society (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kadowaki, S.
2. 発表標題 Issues on the appearance of anatomically modern humans in Mongolia: a perspective from the PaleoAsia project
3. 学会等名 Commemorative Seminar for the 10th Anniversary of Field Research Center (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 門脇誠二
2. 発表標題 ホモ・サピエンスの分布拡大と文化進化
3. 学会等名 第34回国際生物学賞記念講演会(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kadowaki, S.
2. 発表標題 Discussion toward further application of the ecocultural range-expansion model to the PaleoAsia cultural diversity
3. 学会等名 The International Workshop, Cultural History of PaleoAsia (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 門脇誠二・D. ヘンリー・S. マサデ・廣瀬允人
2. 発表標題 ホモ・サビエンスの拡散・定着期における文化動態 南ヨルダン、カルハ山の旧石器遺跡調査(2018年)
3. 学会等名 第26回西アジア発掘調査報告会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 門脇誠二・池谷和信
2. 発表標題 中部旧石器時代から上部旧石器時代への居住移動行動の変遷：南ヨルダン、カルハ山域の資源利用に注目して
3. 学会等名 「パレオアジア文化史学」第6回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 門脇誠二・若野友一郎
2. 発表標題 上部旧石器のはじまりと石器刃部獲得効率の関係
3. 学会等名 「パレオアジア文化史学」第5回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Naito, Y.I., M. Belmaker, H. Bocherens, C. Wissing, and S. Kadowaki
2. 発表標題 Gazelle hunting activities around Tor Hamar rock-shelter in Jordan viewed from carbon and oxygen isotopic compositions of tooth enamel
3. 学会等名 IsoecoI2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Naito, Y.I., M. Belmaker, H. Bocherens, C. Wissing, and S. Kadowaki
2. 発表標題 Gazelle hunting activities around Tor Hamar rock-shelter in Jordan viewed from carbon and oxygen isotopic compositions of tooth enamel
3. 学会等名 The Internati onal Workshop , Cultural History of PaleoAsia (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 内藤裕一・M. Belmaker・H. Bocherens・門脇誠二
2. 発表標題 ガゼルの歯の酸素同位体比からみたTor Hamarにおける狩猟活動(続報)
3. 学会等名 「パレオアジア文化史学」第5回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中沢 隆・門脇誠二・西秋良宏
2. 発表標題 アゼルバイジャンから出土した新石器時代のヤギおよびヒツジの骨に含まれるコラーゲンの質量分析
3. 学会等名 「パレオアジア文化史学」第6回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nakazawa, T., M. Karino, S. Arai, K. Ohnishi, K. Kawahara, Y. Taniguchi, A. Tsuneki, S. Kadowaki, and Y. Nishiaki
2. 発表標題 Mass spectrometry of collagen preserved in Neolithic animal bones for the identification of species
3. 学会等名 66th ASMS Conference on Mass Spectrometry and Allied Topics (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nakazawa, T., M. Osawa, K. Matsuo, M. Inuzuka, Y. Ito, S. Kadowaki, and Y. Nishiaki
2. 発表標題 Identification of animal species by mass spectrometry of collagen preserved in Neolithic and Paleolithic bone specimens
3. 学会等名 The International Workshop, Cultural History of PaleoAsia (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 奈良郁子・門脇誠二
2. 発表標題 南ヨルダン旧石器時代遺跡堆積物を用いた鉱物学的アプローチからの古環境復元
3. 学会等名 「パレオアジア文化史学」第5回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 奈良郁子・長谷川精・田村 亨・門脇誠二
2. 発表標題 南ヨルダン遺跡堆積物を用いた旧石器時代古気候復元
3. 学会等名 「パレオアジア文化史学」第6回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 野林厚志・門脇誠二
2. 発表標題 中部旧石器時代から上部旧石器時代にかけての狩猟具の小型化の行動論的考察：民族誌からの予察
3. 学会等名 「パレオアジア文化史学」第6回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tamura, T. and S. Kadowaki
2. 発表標題 Opticallystimulated luminescence (OSL) dating of Paleolithic sediments in Jebel Qalkha, southern Jordan
3. 学会等名 The International Workshop, Cultural History of PaleoAsia (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田村亨・門脇誠二
2. 発表標題 南ヨルダンJebel Qalkha 旧石器時代遺跡堆積物の光ルミネッセンス (OSL) 特性
3. 学会等名 「パレオアジア文化史学」第5回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田村 亨・西秋良宏・門脇誠二・国武貞克
2. 発表標題 中央・西アジア旧石器時代遺跡のOSL特性の多様性
3. 学会等名 「パレオアジア文化史学」第6回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Wakano, J.Y., W. Gilpin, S. Kadowaki, M.W. Feldman, and K. Aoki
2. 発表標題 Ecocultural rangeexpansion models of modern humans with ecological competition with Neanderthals
3. 学会等名 The International Workshop, Cultural History of PaleoAsia (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nobayashi, Atsushi
2. 発表標題 The Authentic Change of Material Culutre of the Indigenous People in Taiwan
3. 学会等名 The 3rd World Conference of Taiwan Studies, Academia Sinica (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池谷和信・野林厚志
2. 発表標題 民族学からみる狩猟採集社会同士の接触と交替
3. 学会等名 日本考古学協会第84回総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 野林厚志・池谷和信
2. 発表標題 民族学からみる狩猟採集・農耕社会の接触と交替
3. 学会等名 日本考古学協会第84回総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nobayashi, A.
2. 発表標題 Social and cultural change in the indigenous population after contact with colonizers: Historical ecology of Taiwan's people in 18th-20th century
3. 学会等名 The International Workshop, Cultural History of PaleoAsia (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nobayashi, A. and Y. Peng
2. 発表標題 Cross-cultural perspective of the technology and techniques for hunting and gathering from the ethnographic data
3. 学会等名 12th Conference of Hunting and Gathering Societies (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 野林厚志
2. 発表標題 定量分析のための民族誌データセット: Binford (2001) を考える
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第6回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中村光宏・野林厚志
2. 発表標題 東南アジア大陸・島嶼・ウォーレス線境界と文化項目の相関の定量的検証
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第5回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中村光宏・野林厚志
2. 発表標題 新人文化の鍵となる文化要素とその伝達様式：東南アジア・データベースの分析を中心に
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第6回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Fujimoto, T.
2. 発表標題 Social change and behavior patterns in the course of contacts between the previous inhabitant group and migrant group: A case study from Kazakh steppe
3. 学会等名 The International Workshop, Cultural History of PaleoAsia (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 藤本透子
2. 発表標題 民族接触の過程における人口変動 -カザフ草原の事例から
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第6回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 藤本透子
2. 発表標題 中央アジア草原地帯における集団接触と居住形態の変化
3. 学会等名 中央アジアの集団接触にともなう社会変容と物質文化
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 黒川瞬、小林豊、石井拓也、若野友一郎
2. 発表標題 オーバーラッピングジェネレーションモデルにおける文化形質の絶滅までの時間
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第6回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kurokawa S., Kobayashi Y., Ishii T., Wakano J. Y.
2. 発表標題 Time to extinction of a cultural trait
3. 学会等名 PaleoAsia2018 The International Workshop (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小林豊、若野友一郎、大槻久
2. 発表標題 累積的文化とニッチ構築の進化モデル
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第6回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kobayashi Y., Nakamura M., Tamura K., Aoki K., Kurokawa S., Wakano J. Y., Kato S., Suzuki M., Takakura J., Nakagawa K., Noguchi A., Yamaoka T., Nishiaki Y.
2. 発表標題 Analysis of archaeological data based on 0,1-vector models
3. 学会等名 PaleoAsia2018 The International Workshop (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kobayashi Y., Ohtsuki H., Wakano J. Y.
2. 発表標題 Effects of population and social connectedness on cumulative cultural evolution: a gene-culture coevolutionary model
3. 学会等名 2018 annual meeting of the Society for Mathematical Biology and the Japanese Society for Mathematical Biology (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大槻久、小林豊、若野友一郎
2. 発表標題 血縁淘汰は学習への投資を増大させるか？
3. 学会等名 日本人間行動進化学会第11回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nakamura M., Tamura K., Aoki K., Kobayashi Y., Kurokawa S., Wakano J.Y., Kato S., Suzuki M., Takakura J., Nakagawa K., Noguchi A., Yamaoka T., Nishiaki Y.
2. 発表標題 Statistical Analyses of archaeological cultures based on 0,1-vector models
3. 学会等名 PaleoAsia2018 The International Workshop (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 近藤康久, 野口 淳, 三木健裕, 黒沼太一, 北川浩之
2. 発表標題 オマーンにおける先史遺跡調査：ワディ・タヌーフ1号洞穴の発見
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第5回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 近藤康久, 野口 淳, 田村光平, 中村光宏, 北川浩之
2. 発表標題 PaleoAsia DB ハッカソン
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第6回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kitagawa, H.
2. 発表標題 Climatic-induced migration of early modern human across Asia
3. 学会等名 PaleoAsia2018 The International Workshop (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kitagawa, H.
2. 発表標題 Updated radiocarbon chronology of the Dead Sea cores
3. 学会等名 The Dead Sea Borehole The Longest Archive of the Late Quaternary Levant Geological and Geophysical Environments (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Fujiki, T., Kitagawa, H.
2. 発表標題 Pollen analysis of last glacial period submerged forest on the Dekishima coast, Aomori Prefecture, northern Japan
3. 学会等名 PaleoAsia2018 The International Workshop (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Fujiki, T., Kitagawa, H., Okuno, M.
2. 発表標題 Vegetation history of the last 50,000 years reconstructed from the last glacial deposit of the Dejikima coast, Aomori Prefecture, northern Japan
3. 学会等名 The future of the earth: Insights from island civilizations (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Marco Madella, Carla Lancelotti, Atsushi Noguchi, Ghulam M. Veesar, Hiroyuki Kitagawa, Tasleem Abro, Takehiro Miki and Amin Chandio
2. 発表標題 The JASPAR Initiative
3. 学会等名 24th European Association for South Asia (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Naito, Y., Yamane, M., Kitagawa, H.
2. 発表標題 A pre-screening protocol for radiocarbon dating of ancient bone collagen using FTIR
3. 学会等名 23rd International Radiocarbon Conference (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yamane, M., Naito, Y., Kitagawa, H.
2. 発表標題 A promised method of diatom frustule separation from sediments for radiocarbon dating
3. 学会等名 23rd International Radiocarbon Conference (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高倉 純、近藤康久、北川浩之
2. 発表標題 古環境から見たシベリア北極圏への人類の拡散
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第5回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 野口淳、三木健裕、北川浩之、M. マデラ、C.ランセロッチィ、G.M. ヴィーサル、T.アプロ
2. 発表標題 インダス河谷の人類 環境史：後期更新世～完新世の地形発達史・環境変遷史とセトルメントパターンの長期的動態
3. 学会等名 日本西アジア考古学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 野口 淳、北川浩之、三木健裕、Carla Lancelotti、Ghulam M. Veesar、Tasleem Abro、Marco Madella
2. 発表標題 インダス平原北部における考古学・古環境総合調査（日パ西考古学共同調査）2018-0
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第5回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 野口淳、北川浩之、Ajmal Shah、Mumtaz A. Yattoo
2. 発表標題 「インド・カシミール地方の先史考古学環境予備調査： 現生人類拡散南廻りルートにおける山麓経路の可能性
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第6回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松藤和人
2. 発表標題 東アジアにおける新人出現期の様相
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第3回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Lee, Y. j., K. Matsufuji, K. D. Bae, J. Y. Woo, S. W. Lee, G. R. Kim and K. W. Lee
2. 発表標題 Dating of Mansuri Paleolithic Site in Cheongju and its Significances
3. 学会等名 2017 International Symposium of ICPHY & IEAA. International Symposium of Palaeolithic Archaeology in Eurasia (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松藤和人・麻柄一志・竹花和晴
2. 発表標題 東アジアにおける後期更新世石器群の技術類型学上の研究法について
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第4回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nishiaki, Y., Y. Kanjou and T. Akazawa
2. 発表標題 The Yabrudian industry of Dederiyeh Cave, Northwest Syria.
3. 学会等名 Vocation Prehistoire - Hommages Jean-Marie Le Tensorer. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Arai, S., A. Zeynalov, M. Mansurov, F. Guliyev and Y. Nishiaki
2. 発表標題 Faunal assemblages in the Mesolithic-Neolithic Transition of the Southern Caucasus: a view from Damjili Cave, West Azerbaijan.
3. 学会等名 the 13th International Symposium on the Archaeozoology of Southwest Asia (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kadowaki, S. and Y. Nishiaki
2. 発表標題 Dating cultural dynamics during the dispersals of anatomically modern humans and agriculture in western Eurasia.
3. 学会等名 The Fourteenth International AMS Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 西アジアとその周辺の考古学
3. 学会等名 公開講演会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 パレオアジアDBの定量的分析に向けて
3. 学会等名 『パレオアジアDB研究会』科学研究費補助金「新学術領域研究」A01研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 レバノン、ケウエ洞窟出土石器群の再検討 いわゆるIUP関連石器を中心に
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第21回総会・大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 西アジアの前・中期旧石器時代移行期の人類史的意義について
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第21回総会・大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏・野林厚志・門脇誠二・北川浩之・若野友一郎・赤司千恵
2. 発表標題 パレオアジア文化史学 新人文化形成プロセス総合的研究にむけた海外学術調査の統合の試み
3. 学会等名 平成29年度『海外学術調査フォーラム（海外学術調査フェスタ）』
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 北メソポタミア青銅器時代の石器製作技術
3. 学会等名 公開シンポジウム『石器技術研究会 日本列島と西アジア』
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 はじめに
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学第3回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 旧世界中後期旧石器時代の装身具とヒト
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学第3回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 The PaleoAsia project overview
3. 学会等名 International Workshop Cultural Evolution during the Modern Human Dispersals (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 General discussion
3. 学会等名 JSPS seminar: Dispersals of Farming across Eurasia (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Opening remarks
3. 学会等名 International Workshop Across the Movius Line: Cultural Geography of South and Southeast Asia in the Late Pleistocene (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 General discussion
3. 学会等名 JSPS seminar: The Effect of Geographical Margins to Food Globalization in Prehistory (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nishiaki, Y., Y. Kanjou and T. Akazawa
2. 発表標題 The Yabrudian industry of Dederiyeh Cave, Northwest Syria
3. 学会等名 International Conference: Vocation Prehistoire - Hommages Jean-Marie Le Tensorer (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 はじめに・総合討論
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研2016-2020：パレオアジア文化史学第3回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏・A. ゼイナロフ・M. マンスーロフ
2. 発表標題 南コーカサス地方のムステリアン石器群の変異
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研2016-2020：パレオアジア文化史学第3回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 中央アジア山麓部への食料生産経済の拡散と展開：ウズベキスタン旧石器遺跡調査2017
3. 学会等名 第1回シルクロード学研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 趣旨説明、総合討論
3. 学会等名 日本学術振興会外国人研究者短期招聘事業国際シンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 考古学にみる音とその周辺
3. 学会等名 平成29年度学芸員専修コース
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏・O.アリブジャノフ
2. 発表標題 ウズベキスタン、テシク・タシュ洞窟出土の中期旧石器時代石器群
3. 学会等名 日本オリエント学会第59回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 泥壁のアーキテクチャ
3. 学会等名 建築博物学教室
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 西アジアとその周辺の考古学
3. 学会等名 公開講演会、アンデス文明研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 パレオアジアDBの定量的分析に向けて
3. 学会等名 パレオアジアDB研究会、科学研究費補助金「新学術領域研究」A01研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 赤司千恵・F. キリエフ・丹野研一・西秋良宏
2. 発表標題 南コーカサスにおける初期農耕-出土植物データからみた研究の現状
3. 学会等名 日本オリエント学会第59回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高倉 純・北川浩之・西秋良宏
2. 発表標題 北ユーラシア交替劇にかかわる年代データの定量的解析
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研2016-2020：パレオアジア文化史学第3回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 野口 淳・鈴木美保・中村光宏・近藤康久・西秋良宏
2. 発表標題 南アジア後期旧石器時代幾何学細石器群の起源
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学第3回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 長谷川精・門脇誠二
2. 発表標題 南ヨルダンの中部・上部・終末期旧石器時代遺跡堆積物からの古環境復元の試み（予察）
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学第4回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 門脇誠二
2. 発表標題 モビウス・ライン西側における新人文化の発生と多様性 小石刃を用いる行動と社会の考察
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学第3回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 門脇誠二
2. 発表標題 射的具か石材節約か？：レヴァント上部旧石器時代における小石刃の発生と行動的説明
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第22回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kadowaki, S.
2. 発表標題 Emergence of bladelets in the Levant and its behavioral meanings
3. 学会等名 International Workshop on Cultural History of PaleoAsia, “Across the Movius Line: Cultural Geography of South and Southeast Asia in the Late Pleistocene” (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kadowaki, S.
2. 発表標題 Space-time distributions and behavioral changes of Neanderthals and modern humans in west Asia: archaeological records on the Middle-to-Upper Paleolithic transition
3. 学会等名 “Cultural History of PaleoAsia” International workshop (Organized by B02), “Theoretical Models of Cultural Evolution during Modern Human Dispersals”
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Karino, M., K. Kawahara, S. Kadowaki, Y. Taniguchi, A. Tsuneki, M. Moini, and T. Nakazawa
2. 発表標題 Characterization of degradation profile of collagen in archaeological specimens by mass spectrometry
3. 学会等名 The 64th ASMS Conference on Mass Spectrometry and Allied Topics
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Karino, M., Y. Ito, M. Inuduka, S. Kadowaki, Y. Nishiaki, and T. Nakazawa
2. 発表標題 Mass spectrometry of collagen in 8,000-year-old animal bones to characterize deterioration
3. 学会等名 ConBio2017 (Consortium of Biological Sciences 2017) 90th Annual Meeting of the Japanese Biochemical Society
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 内藤裕一・H. ボチェレンス・門脇誠二
2. 発表標題 ガゼルの歯の酸素同位体比からみたTor Hamarにおける狩猟活動：定量化の試みと制約
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学第4回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 若野友一郎・門脇誠二・青木健一
2. 発表標題 新人の分布拡大における2種類の進行波モデルと新人の文化動態
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学第4回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Fujimoto, T.
2. 発表標題 Economic Activity and Rituals for Maintaining Regional Society: A Case Study of Kazakh Villages in Central Asia
3. 学会等名 Community Maintenance in Periphery, (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Fujimoto, T.
2. 発表標題 The Religious and Social Aspects of “Ancestral Lands” in Rural Kazakhstan: An Anthropological Perspective
3. 学会等名 ESCAS-CESS Joint Conference (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 北川浩之
2. 発表標題 モビウス・ライン - 気候学的 な解釈 -
3. 学会等名 パレオアジア文化史学 第3 回 研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 北川浩之
2. 発表標題 エージェント・ベースモデルを使った文化の伝播と隔離の考察
3. 学会等名 パレオアジア文化史学 第3 回 研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 藤木利之・北川浩之
2. 発表標題 出来島海岸最終 氷期埋没林における花粉分析の予備的結果
3. 学会等名 パレオアジア文化史学 第3 回 研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 藤木利之・北川浩之
2. 発表標題 青森県つがる市、出来島海岸最終氷期埋没林における花粉 分析の予察的結果
3. 学会等名 国際火山噴火史情報研究集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 藤木利之・北川浩之・西秋良宏
2. 発表標題 ウズベ キスタン・アンギラク洞窟の中期旧石器時 代層の花粉分析
3. 学会等名 日本第四紀学会2017年大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 北川浩之・奈良郁子・藤木利之・長谷川精・田村亮・近藤康久
2. 発表標題 パレオアジア気 候データベース
3. 学会等名 パレオアジア文化史学 第4 回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 北川浩之
2. 発表標題 14Cキャリブレーションカーブ と地球環境変動
3. 学会等名 宇宙船考古研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kitagawa, H.
2. 発表標題 A challenge toward improving radiocarbon chronology of lake sediment cores
3. 学会等名 Jeju World Heritage Global Forum 2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kitagawa, H.
2. 発表標題 Development of sequential CO2 trapping system for Radiocarbon measurements
3. 学会等名 14th International Conference on Accelerator Mass Spectrometry (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kitagawa, H.
2. 発表標題 Late Pleistocene environment in South and Southeast Asia
3. 学会等名 International Workshop on Cultural History of PaleoAsia” Across the Movius Line- Cultural Geography of South and Southeast Asia in the Late Pleistocene (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 野林厚志・中村光宏
2. 発表標題 民族誌の定量的分析の方法論的課題と解釈上の課題
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学第4回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 野林厚志
2. 発表標題 「適応」を再考するーニッチと文化の境界ー
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学第3回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nobayashi, A.
2. 発表標題 Taste or cuisine: changes in “authentic” Taiwanese indigenous culinary practices
3. 学会等名 A joint inter-congress/conference of the International Union of Anthropological and Ethnological Sciences (IUAES) and Canadian Anthropology Society (CASCA) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nakamura M., A. Nobayashi
2. 発表標題 Detecting correlations between cultural factors in Paleoasian populations
3. 学会等名 International workshop “Theoretical Models of Cultural Evolution during Modern Human Dispersals” (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 若野友一郎・青木健一
2. 発表標題 生態文化的文化拡大モデルにおける遺伝的交雑と非一様環境のモデリング
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第3回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Wakano, J. Y.
2. 発表標題 Derivation of replicator-mutator equation as a limit of individual-based models
3. 学会等名 日本数理生物学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 門脇誠二
2. 発表標題 ネアンデルタールと私たちホモ・サピエン ス～交替劇の真実
3. 学会等名 平成28年度 大河講座 『ひとの 大学』NHK文化センター名古屋教室（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 門脇誠二
2. 発表標題 名古屋大学によるシリア、ユーフラテス 河流域の調査
3. 学会等名 スポット展 ユーフラテスの春 特別 講演会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 門脇誠二
2. 発表標題 ホモ・サビエンスの出現・拡散とピーズ に関する考古記録
3. 学会等名 平成28年度国立民族学博物館 共同研究会：世界のピーズをめぐる人類学的研究（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 門脇誠二
2. 発表標題 石の道具が語る人類の進化 日本で ここだけ！原人、旧人、新人の道具を見比べよう
3. 学会等名 大学博物館が語る、地球と人類のヒストリー（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 門脇誠二
2. 発表標題 西アジアの遺跡調査からさぐる人類史 人類の進化と農業の起源
3. 学会等名 日本西アジア考古学会主催 第1回西アジア考古学トップランナーズセミナー（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kadowaki, S.
2. 発表標題 Biological and cultural transitions from the Middle to Upper Palaeolithic in west Asia: a perspective from lithic technology and settlement behavior
3. 学会等名 Workshop: The 2nd Conference on Cultural History of PaleoAsia (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 門脇誠二
2. 発表標題 西アジアの中部・上部旧石器時代移行におけるヒトと文化の変化：石器技術と居住行動からの展望
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第2回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 門脇誠二
2. 発表標題 南ヨルダン、カルハ山における上部旧石器時代遺跡の調査：目的と2016年度の成果
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第2回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kadowaki, S.
2. 発表標題 Space-time distributions and behavioral changes of Neanderthals and modern humans in west Asia: archaeological records on the Middle-to-Upper Palaeolithic transition
3. 学会等名 Human Evolution in Eurasia Elucidated through Genetics, Archeology, and Linguistics (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 門脇誠二
2. 発表標題 資源開発と技術革新の昔ばなし：人類史から学ぶ生存戦略
3. 学会等名 名古屋大学オープンレクチャー 2017
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 門脇誠二・ドナルド ヘンリー・サタ マサデ・廣瀬允人
2. 発表標題 ホモ・サビエンスの拡散・定着期における文化 動態 南ヨルダン、カルハ山の旧石器遺跡調査(2016年)
3. 学会等名 第24回西アジア発掘調査報告会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 田村 亨・門脇誠二
2. 発表標題 ヨルダンTor Hamarサイトの OSL年代測定: 予察報告
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第2回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 藤木利之・北川浩之・西秋良宏
2. 発表標題 ウズベキスタン・アンギラク洞窟の中期旧石器時代層の花粉分析
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第2回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 北川浩之
2. 発表標題 水月湖の年縞(ねんこう)堆積物
3. 学会等名 静岡地学会(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 北川浩之
2. 発表標題 初期ホモ・サピエンスの居住環境の探求
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第1回研究大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Kitagawa, H., P. X. Dang, A. Hayashida, and V. C. Lai
2. 発表標題 A sedimental record from a maar on the Pleiku Volcanic Field in the central Highland of Vietbam
3. 学会等名 6th International Marr Conference; maar and environmental change (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 北川浩之・M. Stein
2. 発表標題 死海深層掘削プロジェクト：レヴァント地域の気候変動
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第2回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 近藤康久・野口 淳・北川浩之
2. 発表標題 オマーンにおける先史遺跡調査：2016年度概報
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第2回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 野林厚志
2. 発表標題 新人文化の形成：文化・行動変化の文化人類学的モデル
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第1回研究大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 野林厚志・丸川雄三
2. 発表標題 生態資源獲得の道具と技巧の人類学的研究
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第1回研究大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Wakano, J.Y.
2. 発表標題 Traveling waves of cultural invasion
3. 学会等名 Japanese Society for Mathematical Biology (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 若野友一郎・青木健一
2. 発表標題 新人の拡散と定着：個体群・文化の複合ダイナミクスモデル
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第1回研究大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Raczek, T., P. Shirvalkar, and A. Noguchi
2. 発表標題 Session: Margins: society and economy in challenging environments
3. 学会等名 The 8th World Archaeological Congress (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Romagnoli, F., Y. Nishiaki, F. Rivals, and M. Vaquero
2. 発表標題 Session: Multidisciplinary approach in the definition of high-resolution events to interpret past human behaviour
3. 学会等名 The 8th World Archaeological Congress (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松藤和人
2. 発表標題 東アジアにおけるホモ・サピエンス出現前後の考古学
3. 学会等名 パレオアジアA01東アジア班国際セミナー2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Towards a high-resolution chronology of the Neolithisation processes of the Southern Caucasus
3. 学会等名 The 8th World Archaeological Congress (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 PPN-PN The emergence and development of the Mlefaatian lithic industry in the Iranian Zagros
3. 学会等名 The 8th International Conference on the PPN Chipped Lithic Industries of the Near East (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Development of the lithic industries of the earliest farming communities in the Middle Kura Valley, Azerbaijan
3. 学会等名 The 8th Conference on PPN Chipped and Ground Stone Industries of the Near East (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Archaeological issues on the emergence of modern humans in the Zagros Mountains and beyond
3. 学会等名 Workshop: The 2nd Conference on the Cultural History of PaleoAsia (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Opening remarks.
3. 学会等名 Workshop: The 2nd Conference on the Cultural History of PaleoAsia (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Noguchi, A., F. Chiba, and S. Yokoyama
2. 発表標題 Visualizing patterns in archaeological contexts: distributional mapping by processing
3. 学会等名 The 8th World Archaeological Congress (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Noguchi, A., R. Korisettar, H. Sato, and J. Nagasaki
2. 発表標題 The origin of beads making of South Asia: technological reassessment of beads from Jwalapuram 9, Andhra Pradesh, South India
3. 学会等名 The 8th World Archaeological Congress (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 ユネスコ主催第2回シリア文化遺産専門家会議報告
3. 学会等名 文化遺産国際協力コンソーシアム第27回西アジア分科会 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 趣旨説明
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第1回研究大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 野口 淳
2. 発表標題 南アジア・アラビア半島の中期旧石器時代末 - 後期旧石器時代初頭石器群
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第2回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 麻柄一志・上峯篤史・竹花和晴・松藤和人
2. 発表標題 レス - 古土壌編年から見た旧石器編年 中国山西省丁村遺跡群を例として
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第2回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 松藤和人・加藤真二・中川和哉・麻柄一志・上峯篤史・竹花和晴
2. 発表標題 ホモ・サビエンスの出現は東アジアに何をもたらしたか
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第1回研究大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 松藤和人・中川和哉
2. 発表標題 韓国における最近の旧石器研究 時間尺度としてのレスー古土壌編年の有効性
3. 学会等名 パレオアジアA01研究会2017
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Fujimoto, T.
2. 発表標題 Ancestral Land and Networking in the Course of Privatization after Socialism: A Case Study in Kazakhsta
3. 学会等名 East Asian Anthropological Association 2016 Meeting (国際学会)
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計110件

1. 著者名 Seiji Kadowaki, Farhad Guliyev, Yoshihiro Nishiaki	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Sidestone Press	5. 総ページ数 599
3. 書名 Tracking the Neolithic in the Near East: Lithic Perspectives on Its Origins, Development and Dispersals	

1. 著者名 Nishiaki, Y., O. Maeda, and M. Arimura	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Sidestone Press	5. 総ページ数 599
3. 書名 Tracking the Neolithic in the Near East.	

1. 著者名 Nishiaki, Y	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Sidestone Press	5. 総ページ数 599
3. 書名 Tracking the Neolithic in the Near East.	

1. 著者名 Kadowaki, S., T. Miki, K. Shimogama, and Y. Nishiaki	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ex oriente	5. 総ページ数 236
3. 書名 Haci Elamxanlı Tepe - The Archaeological Investigations of an Early Neolithic Settlement in West Azerbaijan	

1. 著者名 Nishiaki, Y. and F. Guliyev	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ex oriente	5. 総ページ数 236
3. 書名 Haci Elamxanlı Tepe - The Archaeological Investigations of an Early Neolithic Settlement in West Azerbaijan	

1. 著者名 Nishiaki, Y	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ex oriente	5. 総ページ数 236
3. 書名 Haci Elamxanlı Tepe - The Archaeological Investigations of an Early Neolithic Settlement in West Azerbaijan	

1. 著者名 Seiji Kadowaki	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ex oriente	5. 総ページ数 236
3. 書名 Haci Elamxanlı Tepe - The Archaeological Investigations of an Early Neolithic Settlement in West Azerbaijan	

1. 著者名 Nishiaki, Y., F. Guliyev, and Kadowaki S.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ex oriente	5. 総ページ数 236
3. 書名 Haci Elamxanlı Tepe - The Archaeological Investigations of an Early Neolithic Settlement in West Azerbaijan	

1. 著者名 彭宇潔, 野林厚志, 高木仁	4. 発行年 2022年
2. 出版社 知識産権出版社	5. 総ページ数 277
3. 書名 賽博格人類学：跨学科理論と応用人類学探索	

1. 著者名 Ikeya, K. and Y. Nishiaki eds.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 National Museum of Ethnology	5. 総ページ数 282
3. 書名 Cultural Continuity of Hunter-Gatherers in Asia: from Prehistory to Present	

1. 著者名 Nishiaki, Y. ed.	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Archaeopress	5. 総ページ数 366
3. 書名 Goytepe - The Neolithic Excavations in the Middle Kura Valley, Azerbaijan	

1. 著者名 西秋 良宏	4. 発行年 2021年
2. 出版社 同成社	5. 総ページ数 240
3. 書名 中央アジアのネアンデルタール人	

1. 著者名 Ikeya, K. and Y. Nishiaki	4. 発行年 2021年
2. 出版社 National Museum of Ethnology	5. 総ページ数 282
3. 書名 Introduction: Cultural diversity among Asian hunter-Gatherers from prehistory to present. In: Cultural Continuity of Hunter-Gatherers in Asia: from Prehistory to Present	

1. 著者名 Kadowaki, S., Y. Arimatsu and Y. Nishiaki	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Archaeopress	5. 総ページ数 366
3. 書名 Excavation, stratigraphy and architecture of Square 4B at Goytepe. In: Goytepe - The Neolithic Excavations in the Middle Kura Valley, Azerbaijan	

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Archaeopress	5. 総ページ数 366
3. 書名 Neolithic flaked stone industry of Goytepe. In: Goytepe - The Neolithic Excavations in the Middle Kura Valley, Azerbaijan	

1 . 著者名 Nishiaki, Y.	4 . 発行年 2020年
2 . 出版社 Brepols	5 . 総ページ数 310
3 . 書名 Dispersals of pressure debitage technology to Central and Southwest Asia. In: Identity, Diversity & Contact: From the Southern Balkans to Xinjiang, from the Upper Palaeolithic to Alexander	

1 . 著者名 Nishiaki, Y.	4 . 発行年 2021年
2 . 出版社 National Museum of Ethnology	5 . 総ページ数 282
3 . 書名 Hunter-gatherers and farmers in the Mesolithic-Neolithic contact period of the Southern Caucasus. In: Cultural Continuity of Hunter-Gatherers in Asia: From Prehistory to Present	

1 . 著者名 Nishiaki, Y. and F. Guliyev	4 . 発行年 2020年
2 . 出版社 Archaeopress	5 . 総ページ数 366
3 . 書名 Introduction. In: Goytepe - The Neolithic Excavations in the Middle Kura Valley, Azerbaijan	

1 . 著者名 Nishiaki, Y., F. Guliyev, F. Huseynov and K. Shimogama	4 . 発行年 2020年
2 . 出版社 Archaeopress	5 . 総ページ数 366
3 . 書名 The Excavation, stratigraphy, and architecture of the Upper Area of Goytepe. In: Goytepe -The Neolithic Excavations in the Middle Kura Valley, Azerbaijan	

1. 著者名 Nishiaki, Y., Y. Arimatsu and S. Arai	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Archaeopress	5. 総ページ数 366
3. 書名 Soundings at the edges of Goytepe. In: Goytepe - The Neolithic Excavations in the Middle Kura Valley, Azerbaijan	

1. 著者名 Nishiaki, Y., E. Baudouin and F. Guliyev	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Archaeopress	5. 総ページ数 366
3. 書名 Mudbricks in Neolithic architecture at Goytepe. In: Goytepe - The Neolithic Excavations in the Middle Kura Valley, Azerbaijan	

1. 著者名 Takakura, J. and Y. Nishiaki	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Archaeopress	5. 総ページ数 366
3. 書名 Fracture wing analysis for identification of obsidian blank production techniques at Goytepe. In: Goytepe - The Neolithic Excavations in the Middle Kura Valley, Azerbaijan	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2020年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 168
3. 書名 飼い猫の始まり-遺跡が伝える新石器時代の人猫交流 『猫と東大』	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2020年
2. 出版社 帝京大学文化財研究所	5. 総ページ数 83
3. 書名 東京大学による1950年代のイラン考古学調査とその後『イラン文明を守る』	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2020年
2. 出版社 学生社	5. 総ページ数 352
3. 書名 「アシュール文化」など58項目『旧石器考古学辞典四訂版』	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2020年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 826
3. 書名 出アフリカ-オリエントに足を踏み入れた最初のホモ・サピエンス集団『中東・オリエント文化事典』	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2020年
2. 出版社 鹿島学術振興財団	5. 総ページ数 382
3. 書名 第9回西アジア新石器研究国際会議『第44回2019年度年報（公益財団法人鹿島学術振興財団）』	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 288
3. 書名 旧人と新人の文化 『人間の本質に迫る科学』	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2021年
2. 出版社 日本西アジア考古学会	5. 総ページ数 130
3. 書名 第28回西アジア発掘報告会の開催にあたって 『第28回西アジア発掘調査報告会』	

1. 著者名 西秋良宏・F. キリエフ・A. ザイナロフ	4. 発行年 2021年
2. 出版社 日本西アジア考古学会	5. 総ページ数 130
3. 書名 南コーカサス地方の新石器時代 アゼルバイジャン発掘調査2008-2019年 『第28回西アジア発掘調査報告会』	

1. 著者名 西秋良宏・O. アリブジャノフ	4. 発行年 2021年
2. 出版社 日本西アジア考古学会	5. 総ページ数 130
3. 書名 北ユーラシアの旧人・新人交替劇 ウズベキスタン旧石器遺跡調査(2012-2019年) 『第28回西アジア発掘調査報告会』	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東京大学総合研究博物館	5. 総ページ数 151
3. 書名 アジアにおけるホモ・サピエンス定着プロセスの地理的編年的枠組み構築5 (パレオアジアA01班2020年度研究報告)	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東京大学総合研究博物館	5. 総ページ数 151
3. 書名 はじめに『パレオアジアA01班2020年度研究報告』	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東京大学総合研究博物館	5. 総ページ数 150
3. 書名 アジアにおけるホモ・サピエンス定着プロセスの地理的編年的枠組み構築-2020年度の取り組み『パレオアジアA01班2020年度研究報告』	

1. 著者名 Kadowaki, S.	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Archaeopress	5. 総ページ数 366
3. 書名 Neolithic ground stone typology and technology at Goytepe. In: Goytepe: Neolithic Excavations in the Middle Kura Valley, Azerbaijan	

1. 著者名 門脇誠二・廣瀬允人・須賀永帰・大澤桃子・S. マサデ・D. ヘンリー	4. 発行年 2021年
2. 出版社 日本西アジア考古学会	5. 総ページ数 130
3. 書名 ホモ・サピエンスの拡散・定着期における文化動態：南ヨルダン、カルハ山の旧石器遺跡調査（近年の動向）『第28回西アジア発掘調査報告会報告集』	

1. 著者名 Kadowaki, S., L. Maher, M. Portillo, and R. M. Albert	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Archaeopress	5. 総ページ数 366
3. 書名 Geoarchaeological investigation of storage space at Goytepe: Phytolith, dung spherulite, and micromorphological analyses. In: Goytepe: Neolithic Excavations in the Middle Kura Valley, Azerbaijan	

1. 著者名 野林厚志	4. 発行年 2020年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 336
3. 書名 台湾原住民族の文化の多様性 ピーズにみる過去と現在『ピースでたどるホモ・サピエンス史 美の起源に迫る』	

1. 著者名 藤本透子	4. 発行年 2020年
2. 出版社 ポーターインク社	5. 総ページ数 280
3. 書名 中央アジア草原地帯におけるコミュニティの再編と維持 カザフのアウルに着目して『辺境コミュニティの維持 島嶼、農村、高地のコミュニティを支える「つながり」』	

1. 著者名 藤本透子	4. 発行年 2020年
2. 出版社 英明企画編集	5. 総ページ数 192
3. 書名 移動する人々のつながり カザフ草原に生きる家族の事例から『人のつながりと世界の行方』	

1. 著者名 Nishiaki, Y. and O. Joris (eds.)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Springer Nature	5. 総ページ数 218
3. 書名 Learning among Neanderthals and Palaeolithic Modern Humans: Archaeological Evidence	

1. 著者名 西秋良宏（編）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 朝日新聞出版	5. 総ページ数 268
3. 書名 アフリカからアジアへ 現生人類はどう拡散したか	

1. 著者名 Nishiaki	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Fuefuki: Research Institute for Cultural Properties, Teikyo University.	5. 総ページ数 111
3. 書名 Tall-i Bakun A, Tall-i Bakun B, Tall-i Jari A, Tall-i Jari B, Tall-i Gap, Tall-i Mushki. In: Iranian Archaeology, edited by K. Yamauchi, N. Murakami and T. Kana	

1 . 著者名 Nishiaki	4 . 発行年 2020年
2 . 出版社 Fuefuki: Research Institute for Cultural Properties, Teikyo University.	5 . 総ページ数 111
3 . 書名 Dailaman cemetery sites. In: Iranian Archaeology, edited by K. Yamauchi, N. Murakami and T. Kanai	

1 . 著者名 Nishiaki	4 . 発行年 2020年
2 . 出版社 Fuefuki: Research Institute for Cultural Properties, Teikyo University.	5 . 総ページ数 111
3 . 書名 Halimejan cemetery sites. In: Iranian Archaeology, edited by K. Yamauchi, N. Murakami and T. Kanai,	

1 . 著者名 Nishiaki, Y.	4 . 発行年 2019年
2 . 出版社 Springer Nature	5 . 総ページ数 228
3 . 書名 Mastering hammer use in stone knapping: An experiment. In: Learning among Neanderthals and Palaeolithic Modern Humans: Archaeological Evidence	

1 . 著者名 Nishiaki, Y.	4 . 発行年 2019年
2 . 出版社 Tokyo: Society for Near Eastern Studies in Japan.	5 . 総ページ数 272
3 . 書名 Jezla: An Early-Middle Bronze Age site complex in the Middle Euphrates steppe, North Syria. In: Prince of the Orient: Ancient Near Eastern Studies in Memory of H. I. H. Prince Takahito Mikasa, edited by Ichiro Nakata, Yoshihiro Nishiaki, Takahiro Odaka, Masamichi Yamada, and Shigeo Yamada, pp. 21-30. Orient, Supplement I.	

1 . 著者名 Nakata, I., Y. Nishiaki, T. Odaka, M. Yamada, and S. Yamada (eds.)	4 . 発行年 2019年
2 . 出版社 Tokyo: Society for Near Eastern Studies in Japan.	5 . 総ページ数 272
3 . 書名 Prince of the Orient: Ancient Near Eastern Studies in Memory of H. I. H. Prince Takahito Mikasa. Orient, Supplement 1.	

1 . 著者名 Nishiaki, Y. and F. Guliyev	4 . 発行年 2019年
2 . 出版社 Astrom Editions	5 . 総ページ数 530
3 . 書名 Neolithic lithic industries of the Southern Caucasus: Goytepe and Haci Elamxanlı Tepe, West Azerbaijan (Early 6th Millennium BC). In: Near Eastern Lithics on the Move: Interaction and Contexts in Neolithic Traditions	

1 . 著者名 Nishiaki, Y. and O. Joris	4 . 発行年 2019年
2 . 出版社 Springer Nature	5 . 総ページ数 228
3 . 書名 Learning behaviors among Neanderthals and Palaeolithic modern humans: An introduction. In: Learning among Neanderthals and Palaeolithic Modern Humans: Archaeological Evidence	

1 . 著者名 Takahashi, S. and Y. Nishiaki	4 . 発行年 2019年
2 . 出版社 Springer Nature	5 . 総ページ数 228
3 . 書名 Learning of sanukite knapping at Suicho (Japan) in the Upper Paleolithic. In: Learning among Neanderthals and Palaeolithic Modern Humans: Archaeological Evidence	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2020年
2. 出版社 朝日新聞出版	5. 総ページ数 268
3. 書名 「はじめに」『アフリカからアジアへ 現生人類はどう拡散したか』	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2020年
2. 出版社 朝日新聞出版	5. 総ページ数 268
3. 書名 「東アジアへ向かった現生人類、二つの適応」『アフリカからアジアへ 現生人類はどう拡散したか』	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2020年
2. 出版社 朝日新聞出版	5. 総ページ数 268
3. 書名 「アフリカからアジアへ 文化の視点」『アフリカからアジアへ 現生人類はどう拡散したか』	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2020年
2. 出版社 朝日新聞出版	5. 総ページ数 268
3. 書名 「おわりに」『アフリカからアジアへ 現生人類はどう拡散したか』	

1. 著者名 西秋良宏・O. アリプジャンフ・O. エンゲシェッド・B. セイフライエフ・仲田大人・新井オ二	4. 発行年 2020年
2. 出版社 日本西アジア考古学会	5. 総ページ数 140
3. 書名 「北ユーラシアの旧人・新人交替劇 第7次ウズベキスタン旧石器遺跡調査（2019年）」『第27回西アジア発掘調査報告会』	
1. 著者名 西秋良宏・A. ザイナロフ・M. マンスロフ・下釜和也・赤司千恵・廣瀬允人・池山史華	4. 発行年 2020年
2. 出版社 日本西アジア考古学会	5. 総ページ数 140
3. 書名 「南コーカサス地方の新石器時代 日本・アゼルバイジャン調査団第12次発掘調査（2019年）」『第27回西アジア発掘調査報告会』	
1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2019年
2. 出版社 奈良文化財研究所	5. 総ページ数 50
3. 書名 「カシュカダリヤ渓谷、アンギラク洞窟の発掘調査」『天山山脈から古日本列島へ：ユーラシア広域編年の可能性』	
1. 著者名 Kadowaki, S., T. Kurozumi, and D. O. Henry	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Springer Nature	5. 総ページ数 228
3. 書名 Marine shells from Tor Fawaz, southern Jordan, and their implications for behavioral changes from the Middle to Upper Paleolithic in the Levant. In: Learning Among Neanderthals and Palaeolithic Modern Humans.	

1. 著者名 門脇誠二	4. 発行年 2020年
2. 出版社 朝日新聞出版	5. 総ページ数 268
3. 書名 「現生人類の出アフリカと西アジアでの出来事」『アフリカからアジアへ 現生人類はどう拡散したか』	

1. 著者名 門脇誠二	4. 発行年 2020年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 336
3. 書名 「人類最古のビーズ利用とホモ・サピエンス 世界各地の発見から」『ビーズでたどるホモ・サピエンス史』	

1. 著者名 門脇誠二・廣瀬允人・須賀永帰・S. マサデ・D. ヘンリー	4. 発行年 2020年
2. 出版社 日本西アジア考古学会	5. 総ページ数 140
3. 書名 「ホモ・サピエンスの拡散・定着期における文化動態 南ヨルダン、カルハ山の旧石器遺跡調査（2019年）」『第27回西アジア発掘調査報告会報告集』	

1. 著者名 野林厚志	4. 発行年 2019年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 336
3. 書名 「台湾原住民族の文化の多様性 ビーズにみる過去と現在」『ビーズでたどるホモ・サピエンス史 美の起源に迫る』	

1. 著者名 Romagnoli, F., Y. Nishiaki, F. Rivals, and M. Vaquero (eds.)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Oxford: Elsevier Ltd.	5. 総ページ数 96
3. 書名 Time uncertainty, site formation Multidisciplinary Approaches in the Definition of High-resolution Events to Interpret Past Human Behaviour: A New Challenge in Archaeology. Quaternary International 474	
1. 著者名 Nakata, I., Y. Nishiaki, T. Odaka, M. Yamada, and S. Yamada (eds.)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 日本オリエント学会	5. 総ページ数 290
3. 書名 Prince of the Orient: Ancient Near Eastern Studies in Memory of H. I. H. Prince Takahito Mikasa. Orient, Supplement I.	
1. 著者名 三國博子・清田 馨・佐々木猛智・池田 博・西秋良宏(編)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 東京大学総合研究博物館	5. 総ページ数 173
3. 書名 東京大学総合研究博物館所蔵小堀巖教授旧蔵沙漠誌コレクション目録 第2部 自然地理資料(標本資料報告第117号)	
1. 著者名 Nishiaki, Y. and F. Guliyev	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Paris: CNRS	5. 総ページ数 518
3. 書名 Near Eastern Lithics on the Move: Interaction and Contexts in Neolithic Traditions.	

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Tokyo: Rokuichi-Shobo	5. 総ページ数 362
3. 書名 Decades in Deserts Essays on West Asian Archaeology in Honor of Professor Sumio Fujii	

1. 著者名 西秋良宏・A. ザイナロフ・M. マンスロフ・下釜和也・赤司千恵・新井オニ・桐原弘亘	4. 発行年 2019年
2. 出版社 日本西アジア学会	5. 総ページ数 118
3. 書名 第26回西アジア発掘調査報告会	

1. 著者名 西秋良宏・O. アリブジャノフ・R. スレイマノフ・O. エングシェッド・B. セイフライエフ・E. グロディーヴァ・仲田大人・新井オニ・野口淳	4. 発行年 2019年
2. 出版社 日本西アジア学会	5. 総ページ数 118
3. 書名 第26回西アジア発掘調査報告会	

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Oxford: Archaeopress	5. 総ページ数 464
3. 書名 Archaeological Explorations in Syria 2000-2011	

1. 著者名 Akazawa, T. and Y. Nishiaki	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Oxford: Archaeopress	5. 総ページ数 464
3. 書名 Archaeological Explorations in Syria 2000-2011	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2018年
2. 出版社 放送大学教育振興会	5. 総ページ数 300
3. 書名 新訂考古学	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2018年
2. 出版社 放送大学教育振興会	5. 総ページ数 300
3. 書名 新訂考古学	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2018年
2. 出版社 岡山市オリエント美術館・古代オリエント博物館	5. 総ページ数 230
3. 書名 シルクロード新世紀	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2019年
2. 出版社 東京大学総合研究博物館	5. 総ページ数 159
3. 書名 アジアにおけるホモ・サピエンス定着プロセスの地理的編年的枠組み構築 2018年度研究報告	

1. 著者名 門脇誠二	4. 発行年 2018年
2. 出版社 岡山市オリエント美術館・古代オリエント博物館	5. 総ページ数 230
3. 書名 シルクロード新世紀	

1. 著者名 Kadowaki, S. and D.O. Henry	4. 発行年 2019年
2. 出版社 六一書房	5. 総ページ数 362
3. 書名 Renewed Investigation of the Middle and Upper Paleolithic Sites in the Jebel Qalkha Area, Southern Jordan. In: Decades in Deserts: Essays on Near Eastern Archaeology in honour of Sumio Fujii	

1. 著者名 門脇誠二・D. ヘンリー・S. マサデ・廣瀬允人	4. 発行年 2019年
2. 出版社 日本西アジア考古学会	5. 総ページ数 118
3. 書名 論文名「ホモ・サピエンスの拡散・定着期における文化動態 南ヨルダン、カルハ山の旧石器遺跡調査 (2018年)」 図書名『第26回西アジア発掘調査報告会報告集』	

1. 著者名 北川浩之	4. 発行年 2019年
2. 出版社 パレオアジア文化史学計画研究A03	5. 総ページ数 50
3. 書名 パレオアジア文化史学計画研究A03平成30年度研究報告書	

1. 著者名 Nishiaki, Y., Y. Kanjou and T. Akazawa	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Universite de Liege	5. 総ページ数 386
3. 書名 Vocation Prehistoire Hommage Jean-Marie Le Tensorer, ERAUL 148	

1. 著者名 Nishiaki, Y. and M. Le Miere	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Oxford: Oxbow Books.	5. 総ページ数 196
3. 書名 The Emergence of Pottery in West Asia: The Search for the Origin of Pyrotechnology	

1. 著者名 Akazawa, T. and Y. Nishiaki	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Cambridge: Cambridge University Press	5. 総ページ数 784
3. 書名 Quaternary of the Levant: Environments, Climate Change, and Humans	

1. 著者名 Nishiaki, Y. and T. Akazawa	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Singapore: Springer Nature	5. 総ページ数 218
3. 書名 The Middle and Upper Paleolithic Archeology of the Levant and Beyond	

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Singapore: Springer Nature	5. 総ページ数 218
3. 書名 The Middle and Upper Paleolithic Archeology of the Levant and Beyond	

1. 著者名 Kondo, Y., K. Sano, T. Omori, A. Abe-Ouchi, W.-L. Chan, S. Kadowaki, M. Naganuma, R. O'ishi, T. Oguchi, Y. Nishiaki and M. Yoneda	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Singapore: Springer Nature	5. 総ページ数 218
3. 書名 The Middle and Upper Paleolithic Archeology of the Levant and Beyond	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2018年
2. 出版社 放送大学教育振興会	5. 総ページ数 303
3. 書名 新訂考古学	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2018年
2. 出版社 放送大学教育振興会	5. 総ページ数 2
3. 書名 新訂考古学	

1. 著者名 西秋良宏・O.アリプジャノフ・R. スレイマノフ・O.エンゲシェッド・仲田大人	4. 発行年 2018年
2. 出版社 日本西アジア考古学会編	5. 総ページ数 127
3. 書名 考古学が語る古代オリエント-第25回西アジア発掘調査報告会	

1. 著者名 西秋良宏・F.キリエフ・A.ザイナロフ・M.マンスロフ・下釜和也・仲田大人・赤司千恵・新井才二・池山史華	4. 発行年 2018年
2. 出版社 日本西アジア考古学会編	5. 総ページ数 127
3. 書名 考古学が語る古代オリエント-第25回西アジア発掘調査報告会	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2017年
2. 出版社 帝京大学文化財研究所・帝京大学シルクロード総合学術研究センター編	5. 総ページ数 100
3. 書名 第一回シルクロード学研究会報告集	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2017年
2. 出版社 帝京大学文化財研究所・帝京大学シルクロード総合学術研究センター編	5. 総ページ数 96
3. 書名 2016年度中央アジア遺跡調査報告会資料集	

1. 著者名 原隆一・南里浩子・西秋良宏	4. 発行年 2017年
2. 出版社 東京大学総合研究博物館	5. 総ページ数 101
3. 書名 大野盛雄教授旧蔵人文地理資料目録 東京大学総合研究博物館標本資料目録第115号	

1. 著者名 Nishiaki, Y. and T. Akazawa	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Singapore: Springer Nature	5. 総ページ数 218
3. 書名 The Middle and Upper Paleolithic Archeology of the Levant and Beyond	

1. 著者名 西秋良宏・三國博子	4. 発行年 2017年
2. 出版社 東京大学総合研究博物館	5. 総ページ数 145
3. 書名 小堀巖教授旧蔵沙漠誌コレクション目録第1部：考古民族資料 東京大学総合研究博物館標本資料目録第111号	

1. 著者名 門脇誠二（安斎正人編）	4. 発行年 2017年
2. 出版社 同成社	5. 総ページ数 524
3. 書名 『理論考古学の実践 II 実践篇』	

1. 著者名 Kadowaki, S. (edited by Y. Nishiaki and T. Akazawa)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 218
3. 書名 Middle and Upper Paleolithic Archeology of the Levant and Beyond	

1. 著者名 門脇誠二・D. ヘンリー・S. マサデ・廣瀬允人（日本西アジア考古学会編）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 日本西アジア考古学会	5. 総ページ数 127
3. 書名 第25回西アジア発掘調査報告会報告集	

1. 著者名 野林厚志	4. 発行年 2018年
2. 出版社 国立民族学博物館	5. 総ページ数 215
3. 書名 国立民族学博物館開館40周年記念特別展：太陽の塔からみんなくへ：70年万博収集資料	

1. 著者名 野林厚志	4. 発行年 2018年
2. 出版社 平凡社	5. 総ページ数 494
3. 書名 肉食行為の研究	

1. 著者名 Akazawa, T. and Y. Nishiaki	4. 発行年 2016年
2. 出版社 Archaeopress	5. 総ページ数 460
3. 書名 A History of Syria in One Hundred Sites	

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 発行年 2016年
2. 出版社 Archaeopress	5. 総ページ数 460
3. 書名 A History of Syria in One Hundred Sites	

1. 著者名 Akazawa, T. and Y. Nishiaki	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Oxford University Press	5. 総ページ数 373
3. 書名 Quaternary Environments, Climate Change, and Humans in the Levant	

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 発行年 2016年
2. 出版社 ex oriente	5. 総ページ数 359
3. 書名 The Neolithic of the Iranian Plateau. Recent Research	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2016年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 311
3. 書名 UMUT オープンラボ Hall of Inspiration	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2017年
2. 出版社 shiki	5. 総ページ数 118
3. 書名 キルギスとその周辺地域における遊牧社会の形成	

1. 著者名 西秋良宏・O. アリブジャノフ・R. スレイマノフ・B. セイフライエフ・O. エンゲシェッド・仲田大人・新井オニ	4. 発行年 2017年
2. 出版社 日本西アジア考古学会	5. 総ページ数 150
3. 書名 考古学が語る古代オリエント	

1. 著者名 西秋良宏・F. キリエフ・A. ザイナロフ・M. マンスロフ・下釜和也・仲田大人・赤司千恵・新井オニ	4. 発行年 2017年
2. 出版社 日本西アジア考古学会	5. 総ページ数 150
3. 書名 考古学が語る古代オリエント	

1. 著者名 門脇誠二	4. 発行年 2017年
2. 出版社 国立民族学博物館	5. 総ページ数 136
3. 書名 ビーズ - つなぐ かざる みせる	

1. 著者名 Aoki, K., J.Y. Wakano, and M.W. Feldman	4. 発行年 2016年
2. 出版社 Elsevier	5. 総ページ数 814
3. 書名 On Human Nature: Biology, Psychology, Ethics, Policy, and Religion	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>パレオアジア文化史学 http://paleoasia.jp/ 東京大学総合研究博物館西秋研究室 http://nishiaki-labo.jp/index.html 名古屋大学博物館門脇誠二研究室 http://www.num.nagoya-u.ac.jp/outline/staff/kadowaki/laboratory/ 人類集団の拡散と定着にともなう文化・行動変化の文化人類学的モデル http://www.minpaku.ac.jp/research/activity/project/other/kaken/16H06411</p>
--

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	門脇 誠二 (Kadowaki Seiji) (00571233)	名古屋大学・博物館・教授 (13901)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計12件

国際研究集会 The 9th International Conference of the Pre-Pottery Neolithic Chipped and Ground Stone Industries of the Near East (PPN9)	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 "International Workshop: Early Farming Societies of the Southern Caucasus: 10 Years of Archaeological Discoveries of Japanese and French Expeditions"	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 国際ワークショップ：新石器時代のアナトリア	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 日本地球惑星科学連合2019年大会	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 International Workshop: Mathematical Modeling and Statistical Analysis of Cultural Datasets	開催年 2020年～2020年
国際研究集会 PaleoAsia2018 International Workshop	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 PaleoAsia 2018 公開講演会「アフリカからアジアへ」 現生人類の起源と拡散	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 International Workshop "Across the Movius Line - Cultural Geography of South and Southeast Asia in the Late Pleistocene"	開催年 2017年～2017年
国際研究集会 International workshop "Theoretical Models of Cultural Evolution during Modern Human Dispersals"	開催年 2017年～2017年
国際研究集会 Multidisciplinary approach in the definition of high-resolution events to interpret past human behaviour	開催年 2016年～2016年
国際研究集会 International workshop Biological and cultural transitions in the Middle and Upper Palaeolithic in West Asia: Perspectives from PaleoAsia	開催年 2017年～2017年
国際研究集会 パレオアジアA01東アジア班国際セミナー2017	開催年 2017年～2017年

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
ウズベキスタン	国立歴史博物館			
中国	北京大学考古文博学院	雲南大学	大慶博物館	
イラン	国立博物館			
米国	University of Tulsa	University of California, Berkeley	Texas A&M University	他1機関
モンゴル	モンゴル科学アカデミー歴史学考古学研究所			
オマーン	オマーン遺産文化省			
パキスタン	シャー・アブドゥル・ラティーフ大学	ボンベウ・ファブラ大学		
アゼルバイジャン	アゼルバイジャン科学アカデミー			
ロシア連邦	ロシア科学アカデミーシベリア支部考古学・民族誌学研究所	ロシア国立ザバイカル大学		
ヨルダン	ヨルダン考古局			
ドイツ	The University of Tübingen			
フィリピン	フィリピン国立大学			